



Mail セキュリティ・クラウド プレミアム ユーザー運用ガイド

* Microsoft、Exchange は米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

* 記載されている会社名及び商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。本データ内の文章・画像・図版の著作権についてはそれぞれの著者に帰属します。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

本ドキュメントの一部あるいは全部について、キヤノンマーケティングジャパン株式会社の事前の承認なく、複製、転載することを禁止します。

2025-Mar-12

目次

1.	はじめに	3
1.1	ご利用までの流れ	3
2.	ご利用シーンごとのルール作成・確認手順	4
2.1	添付ファイルダウンロードリンク化機能を使いたい	4
2.1.1	添付ファイルダウンロードリンク化機能とは	4
2.1.2	添付ファイルダウンロードリンク化の設定	5
2.1.3	添付ファイルダウンロードリンク化ルールの作成	12
2.1.4	テストメールの送信	18
2.2	添付ファイル暗号化のパスワード設定・送信する作業を軽減したい	23
2.2.1	添付ファイル暗号化機能とは	23
2.2.2	添付ファイル暗号化の設定	25
2.2.3	添付ファイル ZIP 暗号化ルールの作成	29
2.2.4	テストメールの送信	35
2.3	メールアドレスの漏えいを防止したい	38
2.3.1	宛先 Bcc 変換機能とは	38
2.3.2	宛先 Bcc 変換ルールの作成	39
2.3.3	テストメールの送信	46
2.4	外部向けメールの添付ファイル送信ミスを防ぎたい	47
2.4.1	メール送信遅延機能とは	47
2.4.2	添付ファイル暗号化の設定	48
2.4.3	メール送信遅延ルール・添付ファイル ZIP 暗号化ルールの作成	52
2.4.4	テストメールの送信	65
3.	マニュアルの確認手順	69
3.1	管理画面からの確認手順	69
3.2	ユーザーズサイトからのダウンロード手順	73
4.	Microsoft 365 でシングルサインオンを実施する	77
4.1	事前準備	78
4.2	Microsoft 365 の設定	80
4.3	Mail セキュリティ・クラウドの設定	90
4.3.1	Mail セキュリティ・クラウドのシングルサインオン設定	90
4.3.2	Mail セキュリティ・クラウド SAML 認証用アカウント作成	91
4.4	シングルサインオンによるログイン確認	94
5.	Google Workspace でシングルサインオンを実施する	96
5.1	事前準備	97
5.2	Google Workspace の設定	99
5.3	Mail セキュリティ・クラウドの設定	105

5.3.1	Mail セキュリティ・クラウドのシングルサインオン設定	105
5.3.2	Mail セキュリティ・クラウドの SAML 認証用アカウント作成	108
5.4	シングルサインオンによるログイン確認	111
Appendix	113

1. はじめに

この度は、Mailセキュリティ・クラウドをご購入くださり、誠にありがとうございます。

本資料は、Mailセキュリティ・クラウドのご利用にあたっての設定手順をご紹介します。

例として、一部の機能についてのご利用手順方法を記載しております。

その他の機能につきましては、[3.マニュアルの確認手順]にてマニュアルの確認方法を記載しておりますので、マニュアルをご参照のうえ、ご利用ください。

1.1 ご利用までの流れ

Mailセキュリティ・クラウドの運用開始までの全体的な流れは以下のとおりです。

本資料は**青枠部分**の手順について記載しております。

一部「サービス登録完了書」に記載された内容を参照いただく箇所がございますので、お手元にご準備ください。

	関連資料
サービス登録完了書の受け取り	サービス登録完了書
↓	
お客様環境の変更	スタートアップガイド
↓	
Mailセキュリティ・クラウドへの 初回ログイン・メール疎通確認	スタートアップガイド
↓	
ジャーナルアーカイブ設定 MailArchive on Cloud [ジャーナルメール] ご利用の場合のみ	スタートアップガイド
↓	
初期設定完了	ユーザー運用ガイド (本資料)



その他 QA につきましては、下記リンク先のサイトにて公開しておりますので、こちらをご参照ください。

サポート情報 (https://security-support.canon-its.jp/?site_domain=gwc)

2.ご利用シーンごとのルール作成・確認手順

Mailセキュリティ・クラウドでは、さまざまなルールを設定し、誤送信や情報漏えいを防ぐことができます。ご利用シーンごとに即したルール作成手順や確認手順をご紹介します。

2.1 添付ファイルダウンロードリンク化機能を使いたい

[MailConvert on Cloud 利用ユーザー向け]

ファイルを添付したメールの添付ミスによる情報漏えいを防ぐため、添付ファイルを暗号化して送信する「PPAP」が広く知られています。しかし、昨今ではセキュリティの問題から「脱PPAP」が推奨されています。

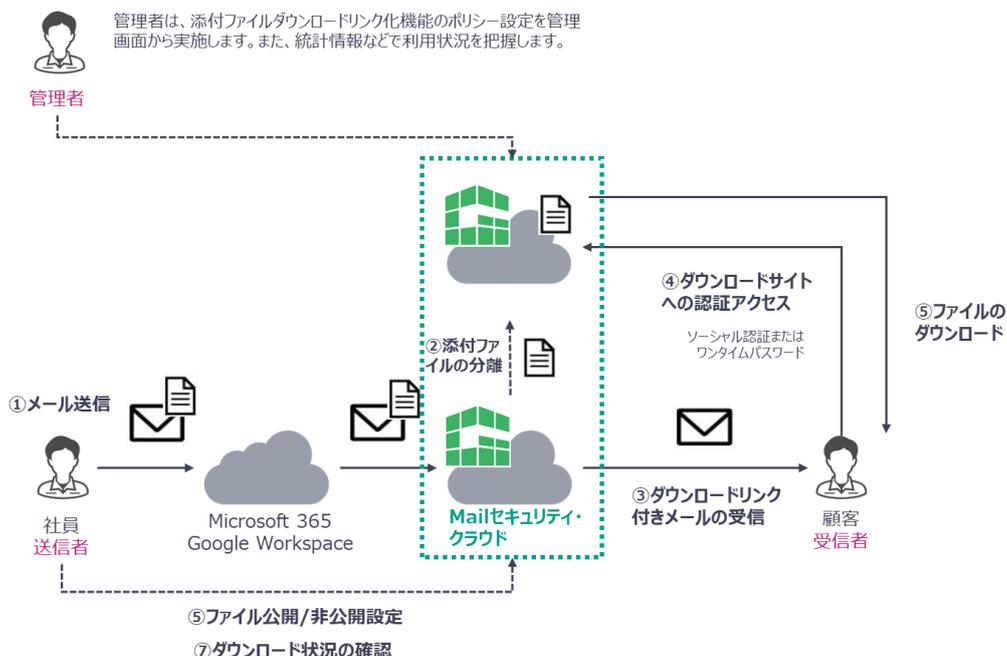
ここでは、添付ファイルを安全に送出することができる「添付ファイルダウンロードリンク化機能」をご紹介します。

2.1.1 添付ファイルダウンロードリンク化機能とは

添付ファイルダウンロードリンク化機能とは、メールに添付されているファイルを自動的に分離し、専用のダウンロードサイトにアップロード、メールにダウンロードリンクを挿入する機能です。

受信者は、リンクからダウンロードサイトにアクセスし、本人認証を実施後、ファイルをダウンロードできます。

送信者は、メール送信後、添付ファイルのアクセス権を設定することができます。万が一間違った宛先への送信や間違ったファイルを添付した場合でも、設定した対象者以外は確認できないため、情報漏えいの被害を防ぐことができます。



2.1.2 添付ファイルダウンロードリンク化の設定

添付ファイルダウンロードリンク化機能に必要な設定をご説明します。

Microsoft 365 および その他クラウドサービス 利用ユーザーとGoogle Workspace 利用ユーザーでは必要な設定が異なりますので、以下を参照し必要な設定の実施をお願いします。

■Microsoft 365 および その他クラウドサービス 利用ユーザー

「1 添付ファイルダウンロードリンク化ルールの設定」の手順を実施後、「3 設定の更新」へお進みください。

■Google Workspace 利用ユーザー

「1 添付ファイルダウンロードリンク化ルールの設定」および「2 受信者向け通知文の設定（Google Workspace 利用ユーザー向け）」の手順を実施後、「3 設定の更新」へお進みください。

1 添付ファイルダウンロードリンク化ルールの設定

添付ファイルダウンロードリンク化機能に必要な設定をご紹介いたします。

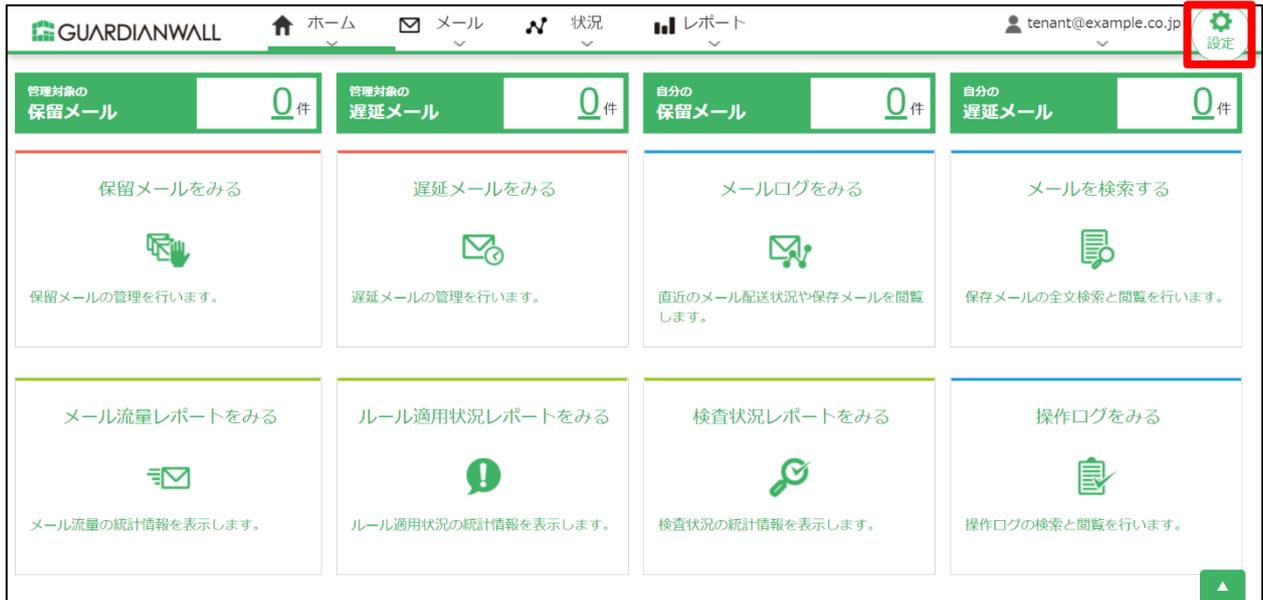
また、ダウンロードサイトが停止した場合、一時的に添付ファイルをZIP暗号化する手順をご紹介いたします。

1. Web ブラウザより管理画面へログインします。以下の情報を入力し、「ログイン」をクリックします

項目	値
URL	サービス登録完了書に記載された管理画面 URL
アカウント	サービス登録完了書に記載されたアカウント
パスワード	初回ログイン後、更新したパスワード



2. 管理画面右上の「設定」をクリックします。



3. 「システム設定」 - 「基本設定」をクリックします。

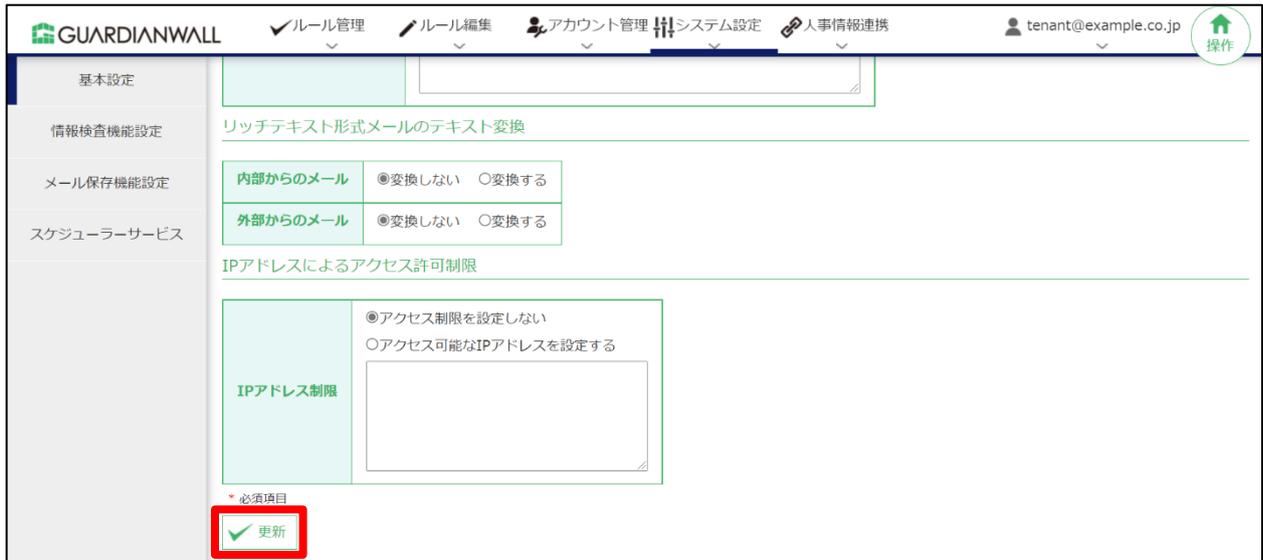


4. 「差出人メールアドレス」の「エンベロープ From アドレスにも使用する」にチェックする。



i 「管理者メール通知」 - 「差出人メールアドレス」のドメインを別ドメインで設定しないようにご注意ください。

5. 「更新」をクリックします。



6. 「基本設定を変更しました。」と表示されることを確認します。



7. 「システム設定」 - 「情報検査機能設定」をクリックします。



8. 「添付ファイルのダウンロードリンク化」を設定します。

項目	説明	設定例
添付ファイル公開期間	ダウンロードサイト上での添付ファイルの公開期間を設定します。(1~30日)	最大公開期間：30日 デフォルト公開期間：15日
添付ファイルダウンロード回数	ダウンロードサイト上での添付ファイルのダウンロード可能回数を設定します。(1~20回)	最大ダウンロード回数：10回 デフォルトダウンロード回数：5回
添付ファイル公開設定の初期状態	添付ファイルの公開設定の初期状態を「非公開」「公開」から選択することができます。	非公開
送信者用問い合わせコード有効期限	送信者用問い合わせコードの有効期限を設定します。	30日
HTML埋め込み画像	HTMLパートに埋め込まれた画像とスタイルシートのダウンロードリンク化除外設定を「オン」「オフ」から選択することができます。 ダウンロードリンク化除外最大サイズを指定した場合、画像やスタイルシートが最大サイズを超えないものだけを除外します。	ダウンロードリンク化除外設定：オン ダウンロードリンク化除外最大サイズ：0 Kバイト
送信者宛て通知メールの差出人設定	送信者宛て通知メールのエンベロープ FROM アドレスにも管理者の差出人アドレスが設定されます。 ※差出人アドレスは契約ドメインである必要があります。	チェックを入れる

The screenshot shows the GuardianWall management interface. The top navigation bar includes 'ルール管理', 'ルール編集', 'アカウント管理', 'システム設定', and '人事情報連携'. The user is logged in as 'tenant@example.co.jp'. The left sidebar shows '基本設定', '情報検査機能設定', 'メール保存機能設定', and 'スケジューラーサービス'. The main content area is titled '添付ファイルのダウンロードリンク化' and contains the 'Outbound Security for Microsoft 365' settings. A red box highlights the following configuration options:

- 最大公開期間: 30 日
- デフォルト公開期間: 15 日
- 最大ダウンロード回数: 10 回
- デフォルトダウンロード回数: 5 回
- 公開状態: 非公開 公開
- 送信者用問い合わせコード有効期限: 30 日
- ダウンロードリンク化除外設定: オフ オン
- ダウンロードリンク化除外最大サイズ: 0 Kバイト
- 管理者の差出人アドレスをエンベロープFromアドレスにも使用する

9. ダウンロードサイトが停止した場合、添付ファイルを ZIP 暗号化するように、以下項目を設定します。

※「ファイル共有ストレージ停止時の動作」設定にて「メールを配送できない旨を送信者に通知する」または「復旧するまでメールの配送を保留する」を選択の場合、送信したメールの配送が止まるため、「一時的に添付ファイル暗号化を利用する」を設定することを推奨します。

項目	説明	設定例
ファイル共有ストレージ停止時の動作	ダウンロードサイトが停止した場合の動作を設定します。 「一時的に添付ファイル暗号化を利用する」を選択した場合、「添付ファイル暗号化設定」が表示されます。	一時的に添付ファイル暗号化を利用する
暗号化方式	本項目では通常の ZIP 暗号化を行うため、「ZipCrypto」を選択します。	ZipCrypto
ファイル名の文字コード	ZIP 内のファイル名の文字コードを「Shift-JIS」とするか、「UTF-8」とするか選択することができます。	Shift-JIS
暗号化パスワード	ZIP 暗号化のパスワードをランダムで生成するか、固定で生成するか選択することができます。	ランダム
暗号化ファイル名	ZIP のファイル名を指定することができます。指定しない場合、「YYYYMMDDhhmmss.zip」となります。	指定しない
パスワード通知	ZIP 暗号化のパスワード通知メールの送信先を設定します。	送信者 受信（予定）者：5分

GUARDIANWALL

ルール管理 | ルール編集 | アカウント管理 | システム設定 | 人事情報連携

tenant@example.co.jp

基本設定 | 送信者宛て通知メールの差出人設定 | 管理者の差出人アドレスをエンベロープFromアドレスにも使用する

情報検査機能設定 | ファイル共有ストレージ停止時の動作 | メールを配送できない旨を送信者に通知する
 一時的に添付ファイル暗号化を利用する
 復旧するまでメールの配送を保留する

メール保存機能設定 | 添付ファイル暗号化設定 | 暗号化方式: ZipCrypto | ファイル名の文字コード: Shift-JIS | 暗号化パスワード: ランダム 固定 | 固定パスワード

スケジューラーサービス | 暗号化ファイル名: 指定しない | \$ENCTIME.zip | パスワード通知: 送信者 受信 (予定) 者 (遅延時間 5 分)

定型文挿入位置 | 本文の先頭 本文の最後

以上で、添付ファイルダウンロードリンク化の設定は完了です。

Microsoft 365 および その他クラウドサービス 利用ユーザーは設定を反映させるために「3 設定の更新」へお進みください。

Google Workspace 利用ユーザーは追加設定がありますので「2 受信者向け通知文の設定 (Google Workspace 利用ユーザー向け)」へお進みください。

2 受信者向け通知文の設定（Google Workspace 利用ユーザー向け）

Google Workspace 利用ユーザーは受信者向け通知文の設定を実施する必要がありますので手順をご紹介します。

1. 「添付ファイルのダウンロードリンク化」の「受信者向け通知文」を設定します。

項目	値
受信者向け通知文 例	本メールの添付ファイルはダウンロードサイトにアップロードされました。 添付ファイルをダウンロードするには以下の URL をクリックしてください。 \$DOWNLOAD_LINK (ダウンロード期限 \$DOWNLOAD_DATE)
ローカル言語選択	Unicode

以上で、受信者向け通知文の設定は完了です。設定を反映させるために「3 設定の更新」へお進みください。

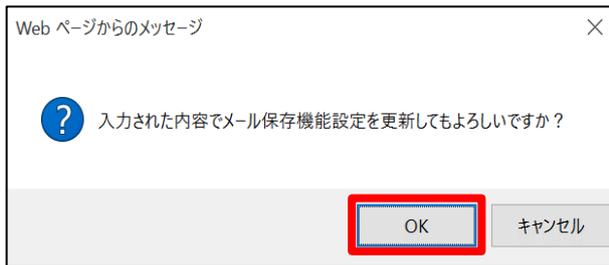
3 設定の更新

設定の更新を実施します。

1. 「更新」をクリックします。



2. 「OK」をクリックします。



3. 設定が更新されたことを確認します。



以上で、添付ファイルダウンロードリンク化の設定は完了です。

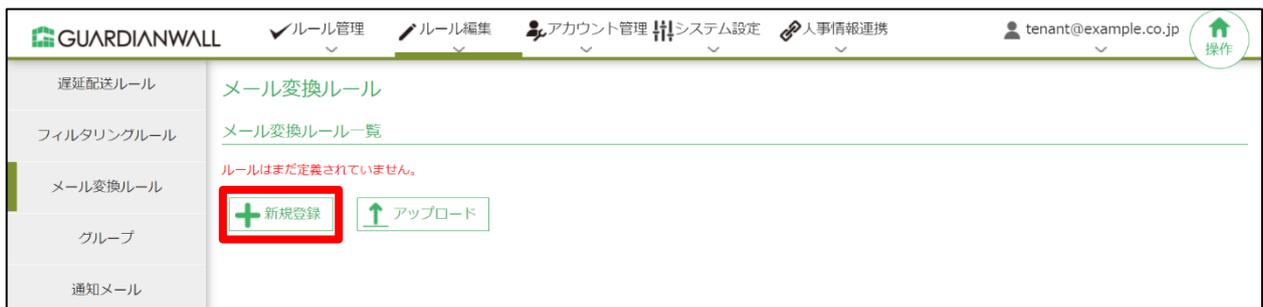
2.1.3 添付ファイルダウンロードリンク化ルールの作成

送信されたすべてのメールについて添付ファイルをダウンロードリンク化するルール作成手順をご紹介します。

1. 「ルール編集」 - 「メール変換ルール」 をクリックします。



2. 添付ファイルダウンロードリンク化ルールを作成するため、「新規登録」 をクリックします。



3. 新規に作成された空のルールの「編集」 をクリックします。



4. 添付されたファイルをダウンロードリンク化するため、数値条件の「添付ファイル」にチェックを入れ、「1ファイル以上」と設定します。

メール変換ルール

編集

[↩ 入力編集モードに切替](#)

行:1	ID: 1	説明: 添付ファイルダウンロードリンク化ルール
差出人条件	<input type="radio"/> ヘッダーFrom <input type="radio"/> エンベロープFrom <input checked="" type="radio"/> 差出人条件の指定無し	メールアドレス: <input type="text"/> グループ: <input type="text"/> 選択 <small>※グループ選択時はメールアドレスの値は無視</small> <input type="text" value="一致する"/>
宛先条件	<input type="radio"/> ヘッダーTo,Cc <input type="radio"/> エンベロープTo <input checked="" type="radio"/> 宛先条件の指定無し	メールアドレス: <input type="text"/> グループ: <input type="text"/> 選択 <small>※グループ選択時はメールアドレスの値は無視</small> <input type="text" value="一致する"/>
数値条件	<input type="checkbox"/> メールサイズ	<input type="text"/> バイト <input type="text"/> 以上
	<input checked="" type="checkbox"/> 添付ファイル	1 ファイル <input type="text"/> 以上
	<input type="checkbox"/> MIMEタイプ	条件セット: <input type="text" value="デフォルト"/> <input type="text"/> 個 <input type="text"/> 以上 <input type="text"/> 点 <input type="text"/> 以上 <input checked="" type="radio"/> 合計値 <input type="radio"/> 最大値 <small>※「個」の値が入力されているときは、「点」の値は無視</small>
	<input type="checkbox"/> キーワード	条件セット: <input type="text" value="デフォルト"/> <input type="text"/> 個 <input type="text"/> 以上 <input type="text"/> 点 <input type="text"/> 以上 <input checked="" type="radio"/> 合計値 <input type="radio"/> 最大値 <small>※「個」の値が入力されているときは、「点」の値は無視</small>
		対象: 添付ファイル

5. ダウンロードリンク化するように、「適用動作」を設定します。設定後、「更新」をクリックします。

項目	説明	設定例
適用動作	添付ファイルをダウンロードリンク化するため、「添付ファイルのダウンロードリンク化」を設定します。 「宛先 Bcc 変換」を選択すると、To,Cc の宛先アドレスが Bcc に変換されます。	添付ファイルのダウンロードリンク化
通知	本項目ではダウンロードリンク化通知メールを送信者に通知するため、「送信者」を選択します。	送信者

6. 「OK」をクリックします。

7. ルールが更新されたことを確認します。

行	ID	説明	差出人条件	宛先条件	数値条件	動作	操作
1	1	添付ファイルダウンロードリンク化ルール	*	*	ATTACHMENT >=1	添付ファイルのダウンロードリンク化(通知: 送信者)	編集

8. 作成したルールを本番環境に反映させます。「ルール編集」 - 「ポリシー適用管理」をクリックします。



9. ルールを即時で反映させるため、「即時適用」の「適用」をクリックします。



10. 「実行」をクリックします。

The screenshot shows the 'Policy Application Management' screen in the GUARDIANWALL system. The left sidebar lists various rule categories, with 'Policy Application Management' selected. The main content area displays a confirmation message: '編集中のすべてのルールを本番環境に書き進めようよろしいですか?' (Are you sure you want to write all rules being edited to the production environment?). Below the message are two buttons: '実行' (Execute) and 'キャンセル' (Cancel). The '実行' button is highlighted with a red box. A table below shows the status of various rules, including 'メール変換ルール' (Email Conversion Rule) which has a timestamp of 2021/01/21 17:16:39.

	ルール管理最終更新時刻	ルール編集最終更新時刻
遅延配送ルール	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
フィルタリングルール	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
メール変換ルール	----/--/-- --:--:--	2021/01/21 17:16:39
グループ	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
通知メール	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
キーワード	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
MIMEタイプ	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
メールテスト	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
ポリシー適用管理	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~

11. メール変換ルールが反映され、「ルール管理最終更新時刻」の日時が更新されたことを確認します。

The screenshot shows the 'Policy Application Management' screen. The main content area displays a confirmation message: '編集中のルールを本番環境に適用しました。' (Applied rules being edited to the production environment). Below the message is a table showing the status of various rules. The 'メール変換ルール' (Email Conversion Rule) row is highlighted with a red box, showing a timestamp of 2021/01/21 17:16:39 for both 'ルール管理最終更新時刻' and 'ルール編集最終更新時刻'.

	ルール管理最終更新時刻	ルール編集最終更新時刻
遅延配送ルール	----/--/-- --:--:~	----/--/-- --:~:~:~
フィルタリングルール	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
メール変換ルール	2021/01/21 17:16:39	2021/01/21 17:16:39
グループ	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
通知メール	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
キーワード	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
MIMEタイプ	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
メールテスト	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
ポリシー適用管理	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~

12. 本番環境にメール変換ルールが反映されたことを確認します。

「ルール管理」- 「メール変換ルール」をクリックします。

The screenshot shows the 'Rule Management' screen in the GUARDIANWALL system. The left sidebar lists various rule categories, with 'Rule Management' selected. The main content area displays a confirmation message: '編集中のルールを本番環境に適用しました。' (Applied rules being edited to the production environment). Below the message is a table showing the status of various rules. The 'メール変換ルール' (Email Conversion Rule) link is highlighted with a red box. The table below shows the status of various rules, including 'メール変換ルール' which has a timestamp of 2021/01/21 17:16:39.

	ルール管理最終更新時刻	ルール編集最終更新時刻
遅延配送ルール	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
フィルタリングルール	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
メール変換ルール	2021/01/21 17:16:39	2021/01/21 17:16:39
グループ	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
通知メール	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
キーワード	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
MIMEタイプ	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
メールテスト	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
ポリシー適用管理	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~

13. 作成したルールが本番環境に反映されていることを確認します。



The screenshot shows the GUARDIANWALL interface for managing email transformation rules. The left sidebar lists various rule categories, with 'メール変換ルール' (Email Transformation Rules) selected. The main area displays a list of rules, with one rule highlighted by a red box:

行	ID	説明	差出人条件	宛先条件	数値条件	動作
1	1	添付ファイルダウンロードリンク化ルール	*	*	ATTACHMENT>= 1	添付ファイルのダウンロードリンク化(通知: 送信者)

以上で、ルールの作成は完了です。

2.1.4 テストメールの送信

テストメールを送信し、メールの添付ファイルが自動的にダウンロードリンク化されることを確認します。
また、本手順では以下の手順をご紹介します。

- ・添付ファイルの公開設定
- ・受信者がワンタイムパスワードを利用し、添付ファイルをダウンロード

1. 外部ドメイン宛てにファイルを添付しているメールを送信します。
2. 送信元にダウンロードリンク化通知メールが届いたことを確認します。
確認後、URL をクリックしてください。



3. 添付ファイル公開設定に移動後、添付ファイルの公開対象者、公開期間、ダウンロード回数、公開ファイルを設定します。

※「メールデータの取得に失敗しました。」と表示された場合は、取得に時間がかかっているため時間を置いてご確認ください。

設定後、「更新」をクリックします。

添付ファイル公開設定

公開対象者 (0/1)

<input type="checkbox"/>	アドレス	種別
<input checked="" type="checkbox"/>	out01@example.com	To

公開添付ファイル (0/1)

公開期間 *	ダウンロード回数制限 *
30 日	5 回

<input type="checkbox"/>	ファイル名	ダウンロード履歴	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	テストファイル (テキスト) .txt	無し 	

* 必須項目

更新

4. 「OK」をクリックします。

Web ページからのメッセージ

 入力された内容で更新してもよろしいですか？

キャンセル

5. 「添付ファイル公開設定を更新しました。」と表示されることを確認します。

添付ファイル公開設定

添付ファイル公開設定を更新しました。

公開対象者 (1/1)

<input type="checkbox"/>	アドレス	種別
<input checked="" type="checkbox"/>	out01@example.com	To

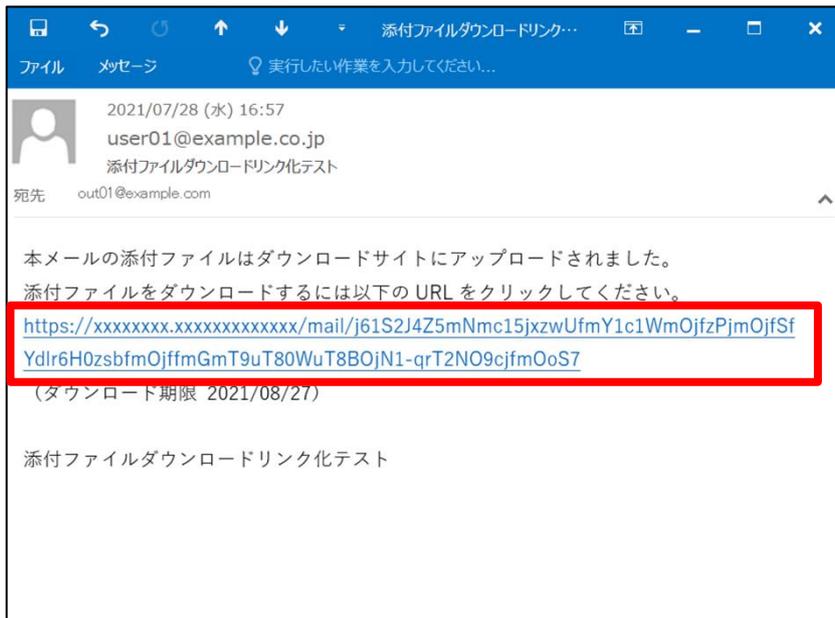
公開添付ファイル (1/1)

公開期間 *	ダウンロード回数制限 *
30 日	5 回

<input type="checkbox"/>	ファイル名	ダウンロード履歴	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	テストファイル (テキスト) .txt	無し	<input type="button" value="取得"/> <input type="button" value="削除"/>

* 必須項目

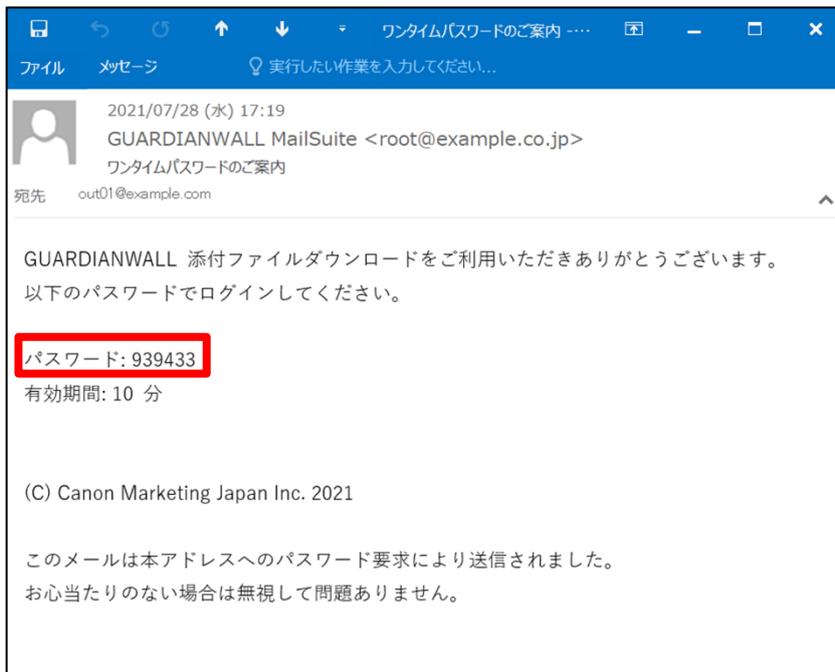
6. 宛先にダウンロードリンク化された状態のメールが届いていることを確認します。
確認後、URL をクリックしてください。



7. ダウンロードサイトのログイン画面が表示されますので、メールを受信したメールアドレスを入力し、「ワンタイムパスワード取得」をクリックします。



8. ワンタイムパスワード通知メールが届くことを確認し、ワンタイムパスワードを確認します。



9. メールアドレスとワンタイムパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

GUARDIANWALL

✓ パスワード通知メールを送信しました。

添付ファイルダウンロードURLを受信したメールアドレスまたはアカウントでログインしてください。

メールアドレス:
out01@example.com

パスワード:
.....

ログイン

ワンタイムパスワード取得

または

Microsoft アカウントでログイン

Google アカウントでログイン

© Canon Marketing Japan Inc. 2021

10. ログイン後、添付ファイルをダウンロードできることを確認します。

GUARDIANWALL

ようこそ OUT01@EXAMPLE.COM ログアウト

✓ ユーザー out01@example.com としてログインしました。

ダウンロードするファイルを選択

名前	サイズ	残りダウンロード回数	公開の終了
テストファイル (テキスト) .txt	8.6 KB (8,844 バイト)	5	2021年8月27日 23:59

© Canon Marketing Japan Inc. 2021

以上で、添付ファイルダウンロードリンク化ルールの動作確認は完了です。

2.2 添付ファイル暗号化のパスワード設定・送信する作業を軽減したい

[MailConvert on Cloud 利用ユーザー向け]

添付ファイルダウンロードリンク化機能にて情報漏えいを防ぐことができますが、添付ファイルを暗号化して送信することも可能です。しかし暗号化し忘れるミスや、毎回個々で設定することによる負担が発生します。

その問題を解決することができる「添付ファイル暗号化機能」をご紹介します。

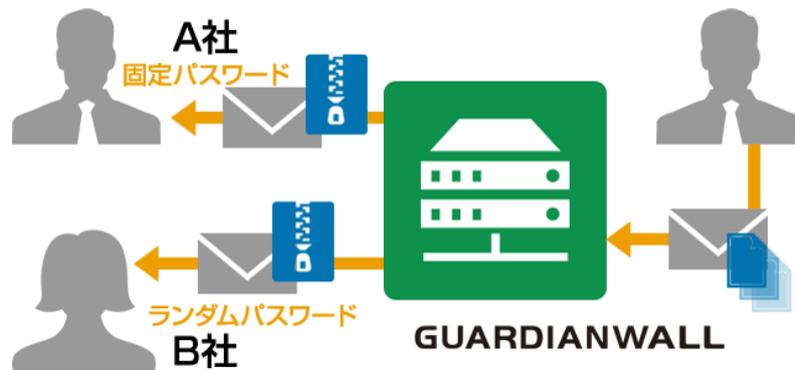
2.2.1 添付ファイル暗号化機能とは

添付ファイル暗号化機能とは、メールに添付されているファイルを自動的に1つのZIPファイルに変換して送信する機能です。

添付ファイル暗号化機能を使用すると、万が一間違ったファイルを添付してしまった場合でも、メール受信者へ解凍パスワードを教えないことでZIPファイルが展開できず、情報漏えいの被害を低減することができます。自動でパスワードを付与してZIP圧縮するので、送信者がわざわざパスワード設定するという作業負担を軽減できます。



また、特定の宛先に送る場合は固定パスワードで暗号化して送信する、といったことも可能です。プロジェクトごとに使用するパスワードを決めていたり、取引会社などにより固定のパスワードを使用していたりする場合でも問題なく運用できます。



本機能には、以下の2種類の暗号化方式をご用意しております。

- ・ パスワード付きZIPファイル暗号化
 - ※ パスワードはランダムに生成するか固定パスワードを使用するか選択できます。
- ・ AES256bit方式を使用した高度暗号化
 - ※ ファイルの展開には専用のツールが必要となります。

2.2.2 添付ファイル暗号化の設定

添付ファイル暗号化機能に必要な設定をご説明します。

1. 管理画面にログインし、画面右上の「設定」をクリックします。



2. 「システム設定」 - 「基本設定」をクリックします。

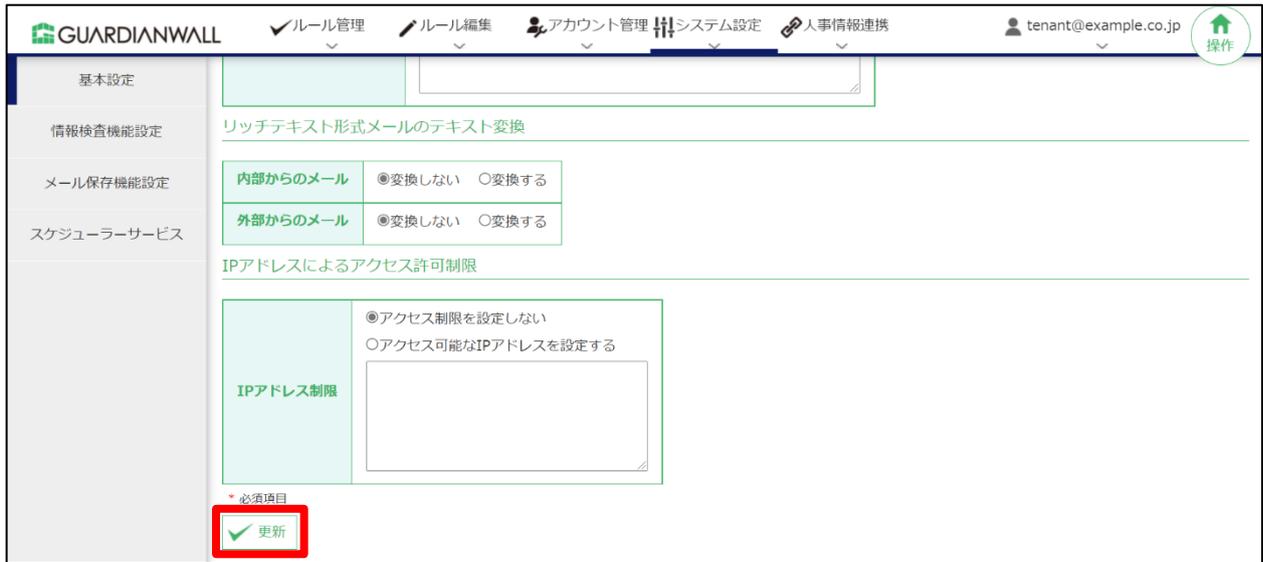


3. 「差出人メールアドレス」の「エンベロープ From アドレスにも使用する」にチェックする。



「管理者メール通知」 - 「差出人メールアドレス」のドメインを別ドメインで設定しないようにご注意ください。

4. 「更新」をクリックします。



5. 「基本設定を変更しました。」と表示されることを確認します。

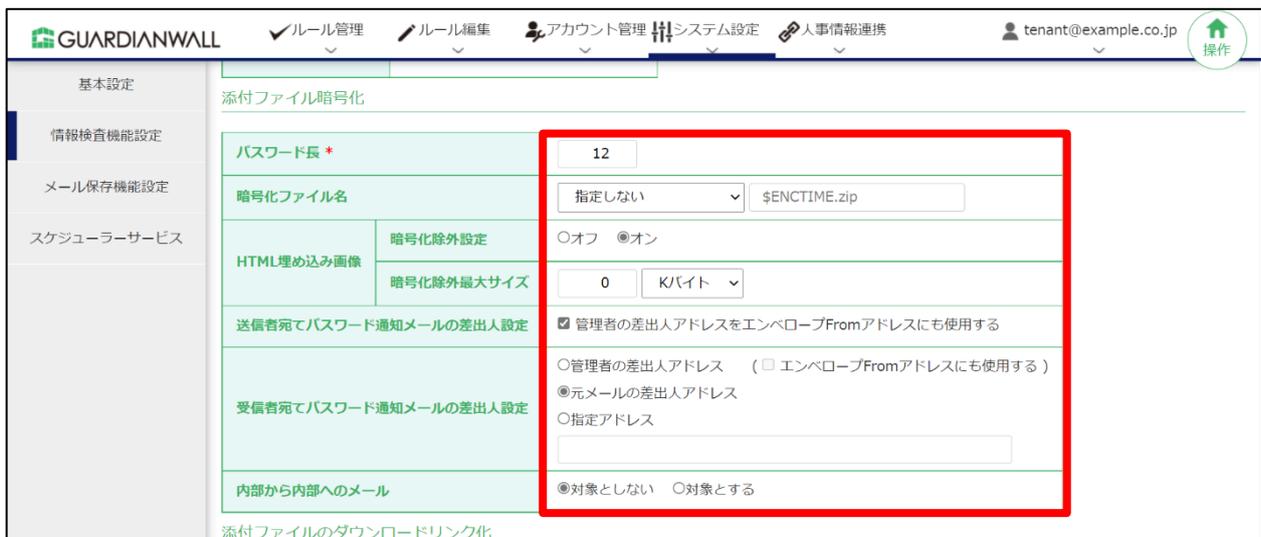


6. 「システム設定」 - 「情報検査機能設定」をクリックします。



7. 「添付ファイル暗号化」を設定します。

項目	説明	設定例
パスワード長	暗号化する際に設定するランダムパスワードの長さ（8～64）を指定することができます。メール変換ルールで、固定パスワードを省略した際に適用されます。	12
暗号化ファイル名	ZIP のファイル名を指定することができます。指定しない場合、「YYYYMMDDhhmmss.zip」となります。	指定しない
HTML 埋め込み画像	HTML パートに埋め込まれた画像とスタイルシートの暗号化除外設定を「オン」「オフ」から選択することができます。暗号化除外最大サイズを指定した場合、画像やスタイルシートが最大サイズを超えないものだけを除外します。	暗号化除外設定：オン 暗号化除外最大サイズ：0 K バイト
送信者宛てパスワード通知メールの差出人設定	送信者宛て通知メールのエンベロープ FROM アドレスにも管理者の差出人アドレスが設定されます。 ※差出人アドレスは契約ドメインである必要があります。	チェックを入れる
受信者宛てパスワード通知メールの差出人設定	受信者宛て通知メールの差出人を指定することができます。 ・管理者の差出人アドレス 通知メールの差出人は管理者になります。「エンベロープ From アドレスにも使用する」をチェックすると、通知メールのエンベロープ FROM アドレスにも管理者が設定されます。 ※差出人アドレスは契約ドメインである必要があります。 ・元メールの差出人アドレス 差出人は元メールの送信者になります。	元メールの差出人アドレス
内部から内部へのメール	内部から内部へのメールを添付ファイル暗号化の「対象としない」「対象とする」から選択することができます。	対象としない



基本設定

情報検査機能設定

メール保存機能設定

スケジューラーサービス

添付ファイル暗号化

パスワード長 * 12

暗号化ファイル名 指定しない \$ENCTIME.zip

HTML埋め込み画像

暗号化除外設定 オフ オン

暗号化除外最大サイズ 0 K バイト

送信者宛てパスワード通知メールの差出人設定 管理者の差出人アドレスをエンベロープFromアドレスにも使用する

受信者宛てパスワード通知メールの差出人設定 管理者の差出人アドレス (エンベロープFromアドレスにも使用する)

元メールの差出人アドレス

指定アドレス

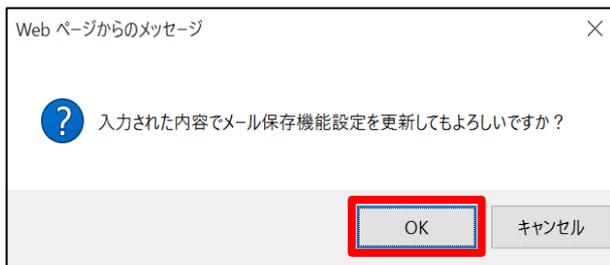
内部から内部へのメール 対象としない 対象とする

添付ファイルのダウンロードリンク化

8. 「更新」をクリックします。



9. 「OK」をクリックします。



10. 設定が更新されたことを確認します。



以上で、添付ファイル暗号化の設定は完了です。

2.2.3 添付ファイル ZIP 暗号化ルールの作成

送信されたすべてのメールについて、添付ファイルをZIP暗号化するルール作成手順をご紹介します。
暗号化時に付与されるパスワードはランダムに生成され、送信者・受信者へメールで通知されます。

1. 「ルール編集」 - 「メール変換ルール」をクリックします。



2. 添付ファイル ZIP 暗号化ルールを作成するため、「新規登録」をクリックします。



3. 新規に作成された空のルールの、「編集」をクリックします。



4. 添付されたファイルを ZIP 暗号化するため、数値条件の「添付ファイル」にチェックを入れ、「1 ファイル以上」と設定します。

メール変換ルール		
編集		
<input type="button" value="↺ 入力編集モードに切替"/>		
行:1	ID: <input type="text" value="1"/>	説明: <input type="text" value="ZIP暗号化ルール"/>
差出人条件	<input type="radio"/> ヘッダーFrom <input type="radio"/> エンベロープFrom <input checked="" type="radio"/> 差出人条件の指定無し	メールアドレス: <input type="text"/> グループ: <input type="text"/> <input type="button" value="選択"/> ※グループ選択時はメールアドレスの値は無視 <input type="button" value="一致する"/>
宛先条件	<input type="radio"/> ヘッダーTo,Cc <input type="radio"/> エンベロープTo <input checked="" type="radio"/> 宛先条件の指定無し	メールアドレス: <input type="text"/> グループ: <input type="text"/> <input type="button" value="選択"/> ※グループ選択時はメールアドレスの値は無視 <input type="button" value="一致する"/>
数値条件	<input type="checkbox"/> メールサイズ	<input type="text"/> <input type="button" value="バイト"/> <input type="button" value="以上"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 添付ファイル	<input type="text" value="1"/> <input type="button" value="ファイル"/> <input type="button" value="以上"/>
	<input type="checkbox"/> MIMEタイプ	条件セット: <input type="button" value="デフォルト"/> <input type="text"/> 個 <input type="button" value="以上"/> <input type="text"/> 点 <input type="button" value="以上"/> <input checked="" type="radio"/> 合計値 <input type="radio"/> 最大値 ※「個」の値が入力されているときは、「点」の値は無視
	<input type="checkbox"/> キーワード	条件セット: <input type="button" value="デフォルト"/> <input type="text"/> 個 <input type="button" value="以上"/> <input type="text"/> 点 <input type="button" value="以上"/> <input checked="" type="radio"/> 合計値 <input type="radio"/> 最大値 ※「個」の値が入力されているときは、「点」の値は無視
		対象: 添付ファイル

5. ZIP 暗号化するように、「適用動作」を設定します。設定後、「更新」をクリックします。

項目	説明	設定例
適用動作	添付ファイルを ZIP 暗号化するため、「添付ファイル暗号化」を設定します。 「宛先 Bcc 変換」を選択すると、To,Cc の宛先アドレスが Bcc に変換されます。	添付ファイル暗号化
暗号化方式	本項目では通常の ZIP 暗号化を行うため、「ZipCrypto」を選択します。	ZipCrypto
ファイル名の文字コード	ZIP 内のファイル名の文字コードを「Shift-JIS」とするか、「UTF-8」とするか選択することができます。	Shift-JIS
暗号化パスワード	ZIP 暗号化のパスワードをランダムで生成するか、固定で生成するか選択することができます。	ランダム
暗号化ファイル名	ZIP のファイル名を指定することができます。指定しない場合、「YYYYMMDDhhmmss.zip」となります。	指定しない
パスワード通知	ZIP 暗号化のパスワード通知メールの送信先を設定します。	送信者 受信（予定）者：5分

6. 「OK」をクリックします。

7. ルールが更新されたことを確認します。

The screenshot shows the GUARDIANWALL management interface. The top navigation bar includes 'ルール管理' (Rule Management), 'ルール編集' (Rule Edit), 'アカウント管理' (Account Management), 'システム設定' (System Settings), and '人事情報連携' (Personnel Information Linkage). The user is logged in as 'tenant@example.co.jp'. The main content area is titled 'メール変換ルール' (Mail Conversion Rule) and displays a confirmation message 'メール変換ルールを更新しました。' (Mail conversion rule updated) in a red box. Below the message are buttons for '+ 新規登録' (New Registration), 'アップロード' (Upload), '全件ダウンロード' (Download All), '削除' (Delete), and '表示順変更' (Change Display Order). There are also checkboxes for '説明' (Description), '差出人条件' (Sender Condition), '宛先条件' (Destination Condition), '数値条件' (Numeric Condition), and '動作' (Action). A table with one row is shown, with columns for '行' (Row), 'ID', '説明' (Description), '差出人条件' (Sender Condition), '宛先条件' (Destination Condition), '数値条件' (Numeric Condition), '動作' (Action), and '操作' (Operation). The '動作' column contains the text '添付ファイル暗号化(暗号化方式: ZipCrypto / ...)'. The interface also shows '10 件/ページずつ' (10 items per page) and 'ページ: 1' (Page: 1).

8. 作成したルールを本番環境に反映させます。「ルール編集」 - 「ポリシー適用管理」をクリックします。

The screenshot shows the GUARDIANWALL management interface. The top navigation bar includes 'ルール管理' (Rule Management), 'ルール編集' (Rule Edit), 'アカウント管理' (Account Management), 'システム設定' (System Settings), and '人事情報連携' (Personnel Information Linkage). The user is logged in as 'tenant@example.co.jp'. The main content area is titled 'メール変換ルール' (Mail Conversion Rule) and displays a confirmation message 'メール変換ルールを更新しました。' (Mail conversion rule updated) in a red box. Below the message are buttons for '+ 新規登録' (New Registration), 'アップロード' (Upload), '全件ダウンロード' (Download All), '削除' (Delete), and '表示順変更' (Change Display Order). There are also checkboxes for '説明' (Description), '差出人条件' (Sender Condition), '宛先条件' (Destination Condition), '数値条件' (Numeric Condition), and '動作' (Action). A table with one row is shown, with columns for '行' (Row), 'ID', '説明' (Description), '差出人条件' (Sender Condition), '宛先条件' (Destination Condition), '数値条件' (Numeric Condition), '動作' (Action), and '操作' (Operation). The '操作' column contains the text '添付ファイル暗号化(暗号化方式: ZipCrypto / ...)'. The interface also shows '10 件/ページずつ' (10 items per page) and 'ページ: 1' (Page: 1). A dropdown menu is open over the '操作' column, and the 'ポリシー適用管理' (Policy Application Management) option is highlighted in a red box.

9. ルールを即時で反映させるため、「即時適用」の「適用」をクリックします。

The screenshot shows the 'Policy Application Management' page in the GUARDIANWALL system. The left sidebar lists various rule categories. The main content area is divided into 'Policy Application Management' and 'Schedule Application'. Under 'Schedule Application', there are options for 'Schedule Application' (checked), 'Application Date' (set to 2021/01/21 17:00), and 'Notification' (checked for 'Do not notify'). At the bottom of this section, the 'Immediate Application' checkbox is checked, and the 'Apply' button is highlighted with a red box.

10. 「実行」をクリックします。

The screenshot shows the 'Policy Application Management' page after clicking 'Apply'. A confirmation dialog is displayed, asking 'Are you sure you want to apply all rules in the editing process to the production environment?' Below the question are two buttons: 'Execute' (checked) and 'Cancel'. The 'Execute' button is highlighted with a red box.

11. メール変換ルールが反映され、「ルール管理最終更新時刻」の日時が更新されたことを確認します。

GUARDIANWALL | ルール管理 | ルール編集 | アカウント管理 | システム設定 | 人事情報連携 | tenant@example.co.jp | 操作

遅延配送ルール | ポリシー適用管理

フィルタリングルール | ポリシー最終更新日時

メール変換ルール | 編集中のルールを本番環境に適用しました。

	ルール管理最終更新時刻	ルール編集最終更新時刻
遅延配送ルール	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
フィルタリングルール	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
メール変換ルール	2021/01/21 17:16:39	2021/01/21 17:16:39
グループ	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
通知メール	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:~:--
キーワード	----/--/-- --:~:--	----/--/-- --:~:--
MIMEタイプ	----/--/-- --:~:--	----/--/-- --:~:--
メールテスト	----/--/-- --:~:--	----/--/-- --:~:--

ポリシー適用管理 | スケジュール適用

12. 本番環境にメール変換ルールが反映されたことを確認します。

「ルール管理」 - 「メール変換ルール」をクリックします。

GUARDIANWALL | ルール管理 | ルール編集 | アカウント管理 | システム設定 | 人事情報連携 | tenant@example.co.jp | 操作

遅延配送ルール | ポリ...

フィルタリングルール | ポリ...

メール変換ルール | 編集中のルールを本番環境に適用しました。

グループ

通知メール

キーワード

MIMEタイプ

メールテスト

通知メール

13. 作成したルールが本番環境に反映されていることを確認します。

GUARDIANWALL | ルール管理 | ルール編集 | アカウント管理 | システム設定 | 人事情報連携 | tenant@example.co.jp | 操作

遅延配送ルール | メール変換ルール

フィルタリングルール | メール変換ルール一覧

メール変換ルール | 全件ダウンロード

10 件 / ページずつ 表示

【1件】

行	ID	説明	差出人条件	宛先条件	数値条件	動作
1	1	ZIP暗号化ルール	*	*	ATTACHMENT>=1	添付ファイル暗号化(暗号化方式: ZipCrypto / ファイル名の文字コード: SJIS / 暗号化ファイル名: 指定しない / パスワード通知: 送信者, 受信(予定)者(遅延時間 5 分))

【1件】

ページ: 1

以上で、ルールの作成は完了です。

2.2.4 テストメールの送信

テストメールを送信し、メールの添付ファイルが自動的にZIP暗号化された後、パスワード通知が5分後に送信されるように、設定が変更されていることを確認します。

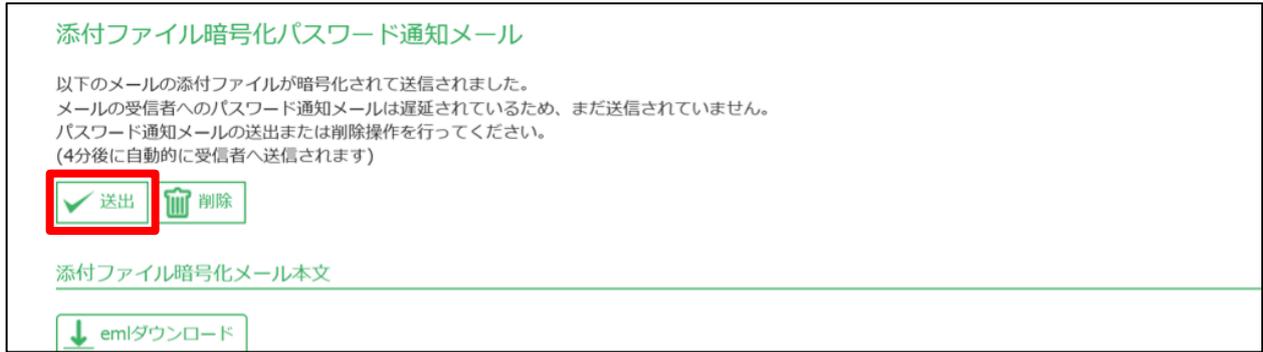
1. 外部ドメイン宛てにファイルを添付しているメールを送信します。
2. パスワード通知メールが遅延されたことをお知らせする通知メールが届き、遅延時間が設定した5分になっていることを確認します。確認後、「暗号化されたメールの内容を確認する」のURLをクリックしてください。

各リンクをクリックすることによって、内容の確認や送出、削除の操作を行うことができます。

項目	説明
暗号化されたメールの内容を確認～	内容の確認および通知メールの送出・削除(送出の中止)を行うことができます。
パスワード通知メールを直接送出～	URL をクリック時、遅延時間を待たずに通知メールを送出します。
パスワード通知メールを直接削除～	URL をクリック時、削除して通知メールの送出を中止します。



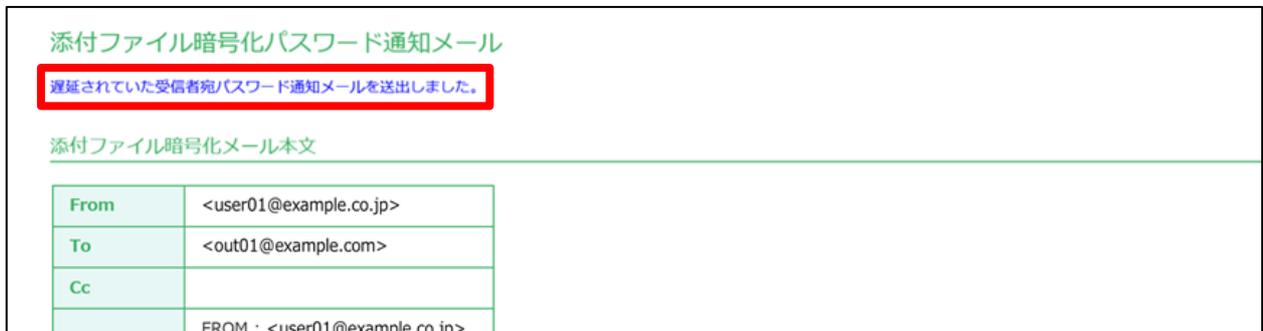
3. メールの内容を確認し、問題が無ければ、画面上部の「送付」をクリックします。



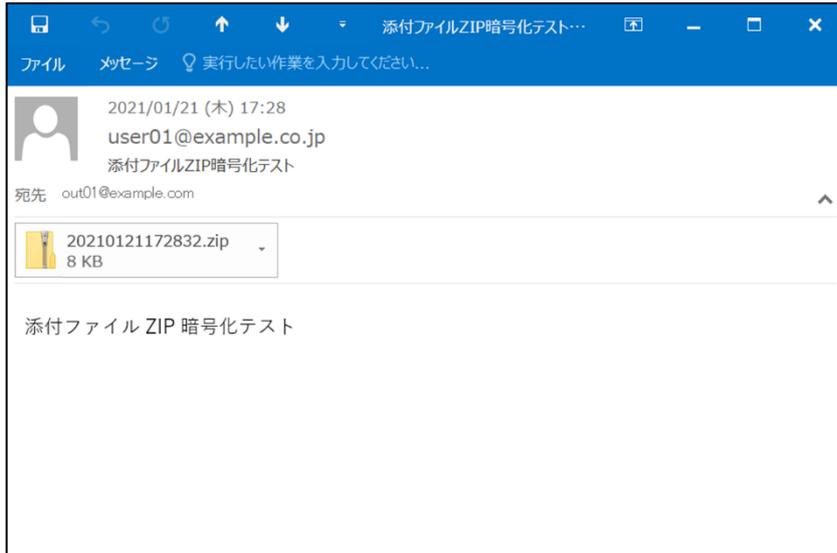
4. 「OK」をクリックします。



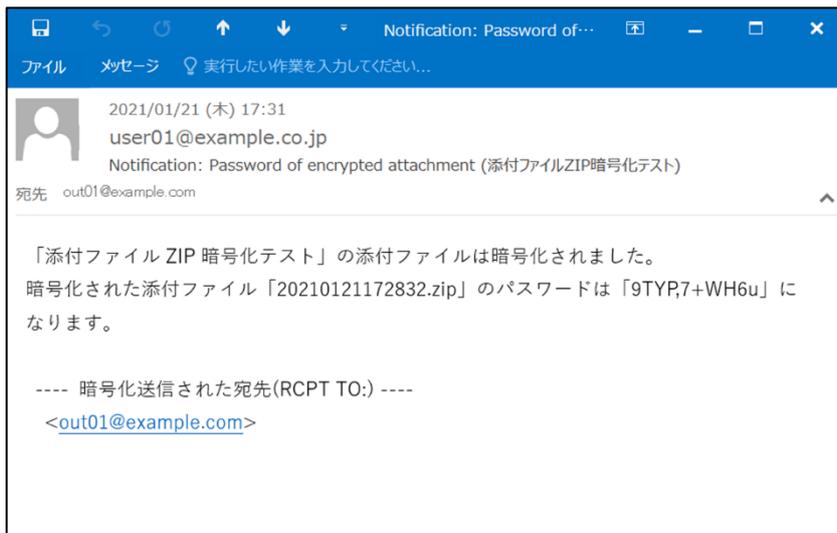
5. 「遅延されていた受信者宛パスワード通知メールを送出しました。」と表示されることを確認します。



6. 宛先に ZIP 暗号化されたファイルが届いていることを確認します。



7. 宛先に ZIP 暗号化されたファイルのパスワード通知メールが届くことを確認します。
届いたパスワードで解凍できることを確認します。



以上で、添付ファイルZIP暗号化ルールの動作確認は完了です。

2.3 メールアドレスの漏えいを防止したい

[MailConvert on Cloud 利用ユーザー向け]

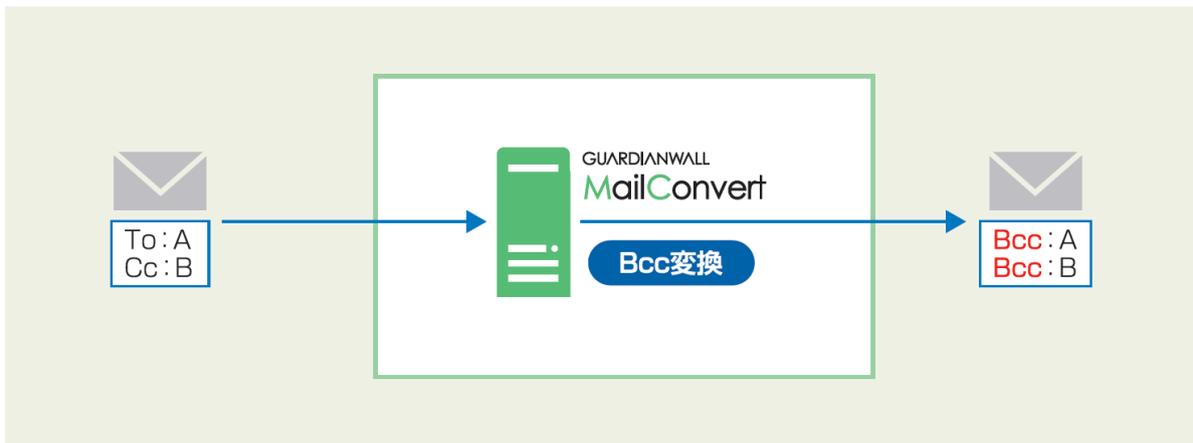
宛先をすべてToやCcで送ってしまうことは人為的に起こりやすいミスである一方、ダイレクトメール送信時に発生すると重大な情報漏えい事故として扱われることも多くあります。

そのような問題を解決することができる「宛先Bcc変換機能」をご紹介します。

2.3.1 宛先 Bcc 変換機能とは

宛先Bcc変換機能とは、ToもしくはCcに設定された宛先を、Bccに変換してメールを送信する機能です。

情報漏えいの原因の上位に挙げられる、複数の宛先にメールを送る際に、誤ってToやCcに宛先を入れて情報漏えいをしてしまうのを防ぎます。



また、Bcc変換するメールを“宛先数が指定値よりも多いメール”や“特定部門のユーザーが送信するメール”など柔軟に設定可能です。

2.3.2 宛先 Bcc 変換ルールの作成

送信するメールについて、10種類以上の外部ドメインが宛先に含まれる場合、外部に宛てたメールの宛先をBcc変換する手順をご紹介します。

なお、メール受信時の表示は、送信者宛てのメール（ToもFromも送信者）となるように設定にしています。

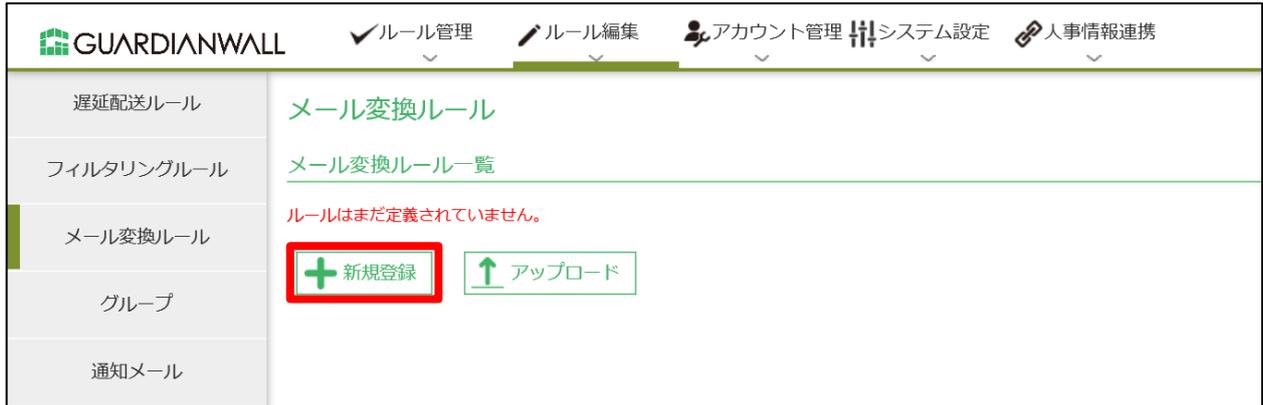
1. 管理画面にログインし、画面右上の「設定」をクリックします。



2. 「ルール編集」 - 「メール変換ルール」をクリックします。



3. 宛先 Bcc 変換ルールを作成するため、「新規登録」をクリックします。



4. 新規に作成された空のルールの、「編集」をクリックします。



5. 「入力編集モードに切替」をクリックします。



6. 宛先 (To,Cc) に 10 種類以上の外部ドメインを含むメールを対象とするため、数値条件に「DOMAIN(RCPT!= *@example.co.jp) >= 10」を入力します。(example.co.jp には、契約ドメインを入力してください。) 文字列の前後のみ、長さ 0 以上の任意の文字列と一致するワイルドカード「*」が指定可能です。

メール変換ルール

編集

行:1	ID: <input type="text" value="1"/>
説明	<input type="text" value="宛先Bcc変換ルール"/>
差出人条件	<input type="text" value="*"/>
宛先条件	<input type="text" value="*"/>
数値条件	<input type="text" value="DOMAIN(RCPT!= *@example.co.jp) >= 10"/>
適用動作	<input type="checkbox"/> 添付ファイルのダウンロードリンク化 通知: <input checked="" type="checkbox"/> 送信者
	<input type="checkbox"/> 宛先Bcc変換 <input type="checkbox"/> ヘッダーFromアドレスをヘッダーToアドレスに指定する

更新

7. 指定した条件を Bcc 変換するため、適用動作の「宛先 Bcc 変換」と「ヘッダーFrom アドレスをヘッダーTo アドレスに指定する」にチェックを入れ、「更新」をクリックします。
- ※「ヘッダーFrom アドレスをヘッダーTo アドレスに指定する」にチェックを入れない場合は、ヘッダーTo アドレスは空になりますのでご注意ください。

メール変換ルール

編集

行:1	ID: <input type="text" value="1"/>
説明	<input type="text" value="宛先Bcc変換ルール"/>
差出人条件	<input type="text" value="*"/>
宛先条件	<input type="text" value="*"/>
数値条件	<input type="text" value="DOMAIN(RCPT!= *@example.co.jp) >= 10"/>
適用動作	<input type="checkbox"/> 添付ファイルのダウンロードリンク化 通知: <input checked="" type="checkbox"/> 送信者
	<input checked="" type="checkbox"/> 宛先Bcc変換 <input checked="" type="checkbox"/> ヘッダーFromアドレスをヘッダーToアドレスに指定する

更新

8. 「OK」をクリックします。



9. ルールが更新されたことを確認します。



10. 作成したルールを本番環境に反映させます。「ルール編集」 - 「ポリシー適用管理」をクリックします。



11. ルールを即時で反映させるため、「即時適用」の「適用」をクリックします。

GUARDIANWALL

✓ ルール管理
✎ ルール編集
👤 アカウント管理
⚙️ システム設定
🔗 人事情報連携

遅延配送ルール

フィルタリングルール

メール変換ルール

グループ

通知メール

キーワード

MIMEタイプ

メールテスト

ポリシー適用管理

ポリシー適用管理

ポリシー最終更新日時

ポリシー設定は tenant@example.co.jp により編集中です。

	ルール管理最終更新時刻	ルール編集最終更新時刻
遅延配送ルール	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
フィルタリングルール	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
メール変換ルール	----/--/-- --:--:--	2019/12/09 17:33:53
グループ	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
通知メール	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
キーワード	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~
MIMEタイプ	----/--/-- --:~:~:~	----/--/-- --:~:~:~

スケジュール適用

スケジュール適用	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
適用日時 (※1)	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 5px;"> 2019年12月 ▼ 9日 ▼ 17時 ▼ (※2) </div>
通知先	<input checked="" type="radio"/> 通知しない <input type="radio"/> 管理者宛てに通知 <input style="width: 80%;" type="text"/> に通知
通知条件	<input type="checkbox"/> 問題が発生した時のみ通知する

✓ 更新

即時適用

即時適用 (※3)	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> ↑ 適用 </div>
-----------	---

12. 「実行」をクリックします。

The screenshot shows the GUARDIANWALL interface with the following elements:

- Navigation bar: りール管理 (checked), りール編集, アカウント管理, システム設定, 人事情報連携
- Left sidebar: 遅延配送ルール, フィルタリングルール, メール変換ルール, グループ, 通知メール, キーワード, MIMEタイプ, メールテスト, **ポリシー適用管理**
- Main content:
 - Section: ポリシー適用管理
 - Status: 即時適用
 - Message: 編集中のすべてのルールを本番環境に書き込んでよろしいですか?
 - Buttons: **実行** (checked, highlighted with a red box), キャンセル
 - Section: ポリシー最終更新日時
 - Table:

	ルール管理最終更新時刻	ルール編集最終更新時刻
遅延配送ルール	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
フィルタリングルール	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
メール変換ルール	----/--/-- --:--:--	2019/12/09 17:33:53
グループ	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
通知メール	----/--/-- --:~:~	----/--/-- --:~:~
キーワード	----/--/-- --:~:~	----/--/-- --:~:~
MIMEタイプ	----/--/-- --:~:~	----/--/-- --:~:~

13. メール変換ルールが反映され、「ルール管理最終更新時刻」の日時が更新されたことを確認します。

The screenshot shows the GUARDIANWALL interface with the following elements:

- Navigation bar: りール管理 (checked), りール編集, アカウント管理, システム設定, 人事情報連携
- Left sidebar: 遅延配送ルール, フィルタリングルール, メール変換ルール, グループ, 通知メール, キーワード, MIMEタイプ, メールテスト
- Main content:
 - Section: ポリシー適用管理
 - Status: ポリシー最終更新日時
 - Message: 編集中のルールを本番環境に適用しました。
 - Table:

	ルール管理最終更新時刻	ルール編集最終更新時刻
遅延配送ルール	----/--/-- --:~:~	----/--/-- --:~:~
フィルタリングルール	----/--/-- --:~:~	----/--/-- --:~:~
メール変換ルール	2019/12/09 17:33:53	2019/12/09 17:33:53
グループ	----/--/-- --:~:~	----/--/-- --:~:~
通知メール	----/--/-- --:~:~	----/--/-- --:~:~
キーワード	----/--/-- --:~:~	----/--/-- --:~:~
MIMEタイプ	----/--/-- --:~:~	----/--/-- --:~:~

14. 本番環境にメール変換ルールが反映されたことを確認します。

「ルール管理」 - 「メール変換ルール」をクリックします。

The screenshot shows the GuardianWall management interface. The top navigation bar includes 'ルール管理' (Rule Management), 'ルール編集' (Rule Edit), 'アカウント管理' (Account Management), 'システム設定' (System Settings), and '人事情報連携' (HR Information Linkage). The left sidebar lists various rule categories: '遅延配送ルール' (Delay Delivery Rule), 'フィルタリングルール' (Filtering Rule), 'メール変換ルール' (Email Conversion Rule), 'グループ' (Group), '通知メール' (Notification Email), 'キーワード' (Keyword), 'MIMEタイプ' (MIME Type), and 'メールテスト' (Email Test). The 'メール変換ルール' category is selected, and a dropdown menu is open, highlighting 'メール変換ルール' (Email Conversion Rule). Below the menu, a table displays rule management and editing timestamps.

	ルール管理最終更新時刻	ルール編集最終更新時刻
遅延配送ルール	----/--/--- --:--:--	----/--/--- --:--:--
フィルタリングルール	----/--/--- --:--:--	----/--/--- --:--:--
メール変換ルール	2019/12/09 17:33:53	2019/12/09 17:33:53
グループ	----/--/--- --:--:--	----/--/--- --:--:--
通知メール	----/--/--- --:--:--	----/--/--- --:--:--
キーワード	----/--/--- --:--:--	----/--/--- --:--:--
MIMEタイプ	----/--/--- --:--:--	----/--/--- --:--:--
メールテスト	----/--/--- --:--:--	----/--/--- --:--:--

15. 作成したルールが本番環境に反映されていることを確認します。

The screenshot shows the GuardianWall interface with the 'メール変換ルール' (Email Conversion Rule) page selected. The page title is 'メール変換ルール' and the subtitle is 'メール変換ルール一覧'. There is a '全件ダウンロード' (Download All) button and a search bar. The table below shows the list of rules.

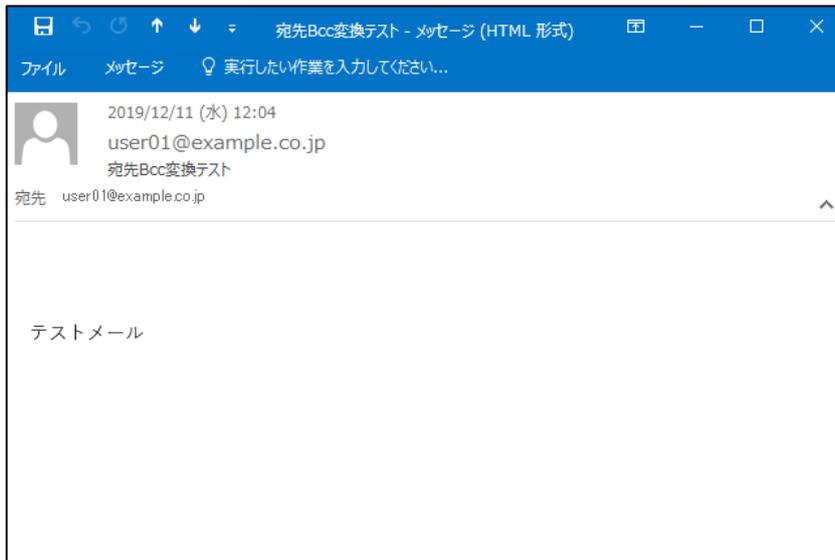
行	ID	説明	差出人条件	宛先条件	数値条件	動作
1	1	宛先Bcc変換ルール	*	*	DOMAIN(RCPT)=* @example.co.jp > = 10	宛先Bcc変換 (ヘッダーFrom をヘッダーToに指定)

以上で、ルールの作成は完了です。

2.3.3 テストメールの送信

テストメールを送信し、宛先に10種類以上の外部ドメインを含むメールが自動的に宛先Bcc変換されることをご確認ください。

1. 10種類以上の外部ドメイン宛てにメールを送信します。
2. 宛先に届いたメールの「送信者」と「宛先」の両方が送信者のアドレスのみになっていることを確認します。



以上で、宛先Bcc変換ルールの動作確認は完了です。

2.4 外部向けメールの添付ファイル送信ミスを防ぎたい

[MaiFilter on Cloud 利用ユーザー向け]+[MailConvert on Cloud 利用ユーザー向け]

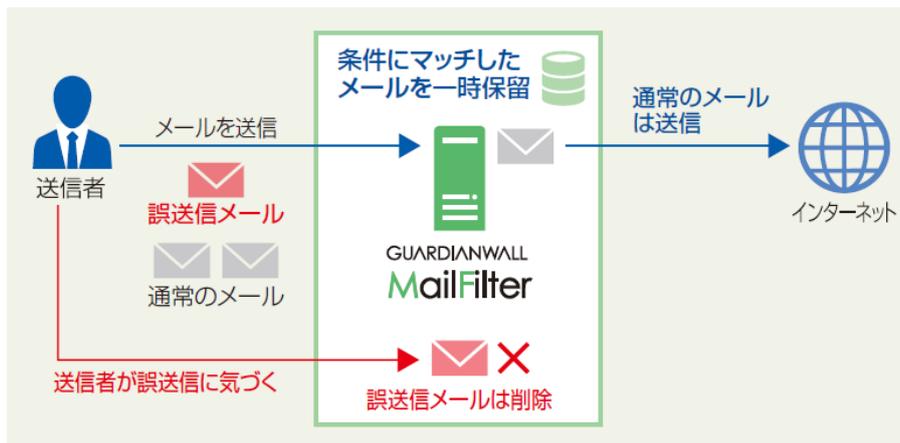
添付ファイルZIP暗号化のみでは、誤送信が起きた場合、添付ファイルは開くことはできなくてもメール自体は送信されてしまいます。この誤送信自体を防ぐために、自分で再度内容の確認を行うことができれば、ミスに気づけるようになります。これらを添付ファイルZIP暗号化と送信メールの確認を併用することにより、さらなる情報漏えいのリスクの低減が実現します。

ここでは、送信したメールの内容の再確認ができる「メール送信遅延機能」をご紹介します。

2.4.1 メール送信遅延機能とは

メール送信遅延機能とは、一定時間送信メールを遅延させることができる機能です。遅延されたメールは、メール送信者自身で削除することが可能です。

メール誤送信時の多くは送信直後にその送信者自身が気づくケースが多く、送信者自らが誤送信に気づき削除が可能となることで、誤送信を未然に防ぐことができます。



2.4.2 添付ファイル暗号化の設定

添付ファイル暗号化機能に必要な設定をご説明します。

1. 管理画面にログインし、画面右上の「設定」をクリックします。



2. 「システム設定」 - 「基本設定」をクリックします。

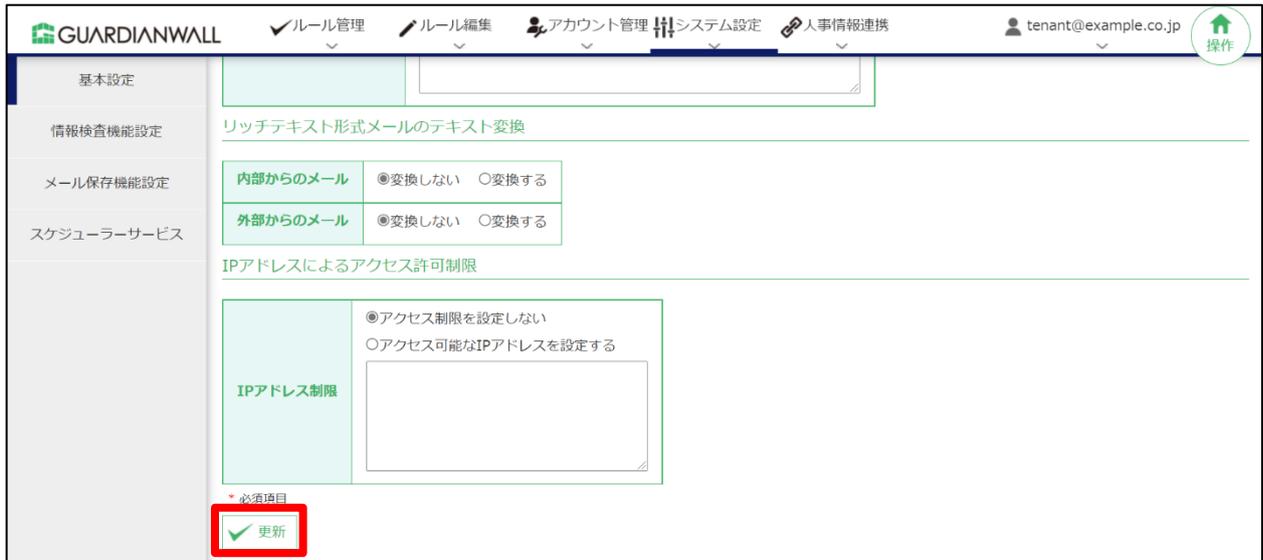


3. 「差出人メールアドレス」の「エンベロープ From アドレスにも使用する」にチェックする。



「管理者メール通知」 - 「差出人メールアドレス」のドメインを別ドメインで設定しないようにご注意ください。

4. 「更新」をクリックします。



5. 「基本設定を変更しました。」と表示されることを確認します。

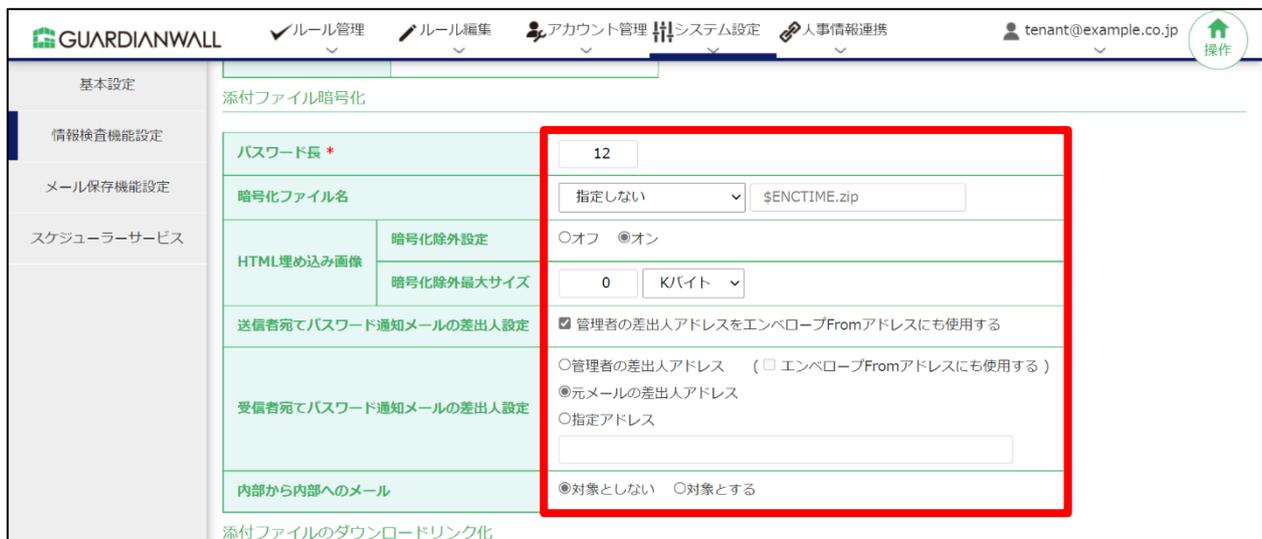


6. 「システム設定」 - 「情報検査機能設定」をクリックします。



7. 「添付ファイル暗号化」を設定します。

項目	説明	設定例
パスワード長	暗号化する際に設定するランダムパスワードの長さ（8～64）を指定することができます。メール変換ルールで、固定パスワードを省略した際に適用されます。	12
暗号化ファイル名	ZIP のファイル名を指定することができます。指定しない場合、「YYYYMMDDhhmmss.zip」となります。	指定しない
HTML 埋め込み画像	HTML パートに埋め込まれた画像とスタイルシートの暗号化除外設定を「オン」「オフ」から選択することができます。暗号化除外最大サイズを指定した場合、画像やスタイルシートが最大サイズを超えないものだけを除外します。	暗号化除外設定：オン 暗号化除外最大サイズ：0 K バイト
送信者宛てパスワード通知メールの差出人設定	送信者宛て通知メールのエンベロープ FROM アドレスにも管理者の差出人アドレスが設定されます。 ※差出人アドレスは契約ドメインである必要があります。	チェックを入れる
受信者宛てパスワード通知メールの差出人設定	受信者宛て通知メールの差出人を指定することができます。 ・管理者の差出人アドレス 通知メールの差出人は管理者になります。「エンベロープ From アドレスにも使用する」をチェックすると、通知メールのエンベロープ FROM アドレスにも管理者が設定されます。 ※差出人アドレスは契約ドメインである必要があります。 ・元メールの差出人アドレス 差出人は元メールの送信者になります。	元メールの差出人アドレス
内部から内部へのメール	内部から内部へのメールを添付ファイル暗号化の「対象としない」「対象とする」から選択することができます。	対象としない



8. 「更新」をクリックします。



9. 「OK」をクリックします。



10. 設定が更新されたことを確認します。



以上で、添付ファイル暗号化の設定は完了です。

2.4.3 メール送信遅延ルール・添付ファイル ZIP 暗号化ルールの作成

送信するメールについて、外部向けのメールに関しては遅延を行い、さらにファイルが添付されている場合には自動でZIP暗号化されるルールを作成します。

また、遅延通知メールから直接確認・送付・削除が出来るようにする手順をご紹介します。

Mailセキュリティ・クラウドでは、メール送信遅延ルールおよび添付ファイルZIP暗号化ルールを設定することで、上記の動作を実現しています。

1. まず、遅延を行う動作のルールを作成します。

「ルール編集」 - 「遅延配送ルール」をクリックします。



2. メール送信遅延ルールを作成するため、「新規登録」をクリックします。



3. 新規に作成された空のルールの、「編集」をクリックします。

The screenshot shows the GUARDIANWALL interface for managing delayed delivery rules. The left sidebar lists various rule types, with '遅延配送ルール' selected. The main area displays a list of rules. A table with the following data is shown:

行	ID	説明	差出人条件	宛先条件	数値条件	動作	通知	操作
1	1	新規登録ルール (編集してください。)	*	*	0	中継	無し	編集

The '編集' button in the '操作' column of the first row is highlighted with a red box.

4. 外部宛でのメールアドレスが含まれていた場合に一定時間遅延させるため、契約ドメイン以外のメールアドレスを対象とする条件を設定します。

「宛先条件」の「ヘッダーTo,Cc」にチェックを入れ、メールアドレス欄に契約ドメインを入力します。
 文字列の前後のみ、長さ 0 以上の任意の文字列と一致するワイルドカード「*」が指定可能です。
 内部宛て以外のメールアドレスを対象とするため、「一致しない」にチェックを入れます。

The screenshot shows the '遅延配送ルール' (Delayed Delivery Rule) edit screen. The '宛先条件' (Destination Condition) section is highlighted in red. The 'ヘッダーTo,Cc' radio button is selected, and the email address field contains '*@example.co.jp'. The dropdown menu is set to '一致しない' (Do not match).

The '差出人条件' (Sender Condition) section is also visible, with 'ヘッダーFrom' selected and the dropdown set to '一致する' (Match).

5. 指定した条件のメールを 5 分間遅延させるため、適用動作の「遅延送出」を選択し、遅延時間を「5 分」と入力します。

メールの削除を行わなかった際、5 分後に自動的にメールが送出される設定になります。

また、遅延通知メールを送信者に通知するため、送信先の「送信者」にチェックを入れ、「更新」をクリックします。

	<input checked="" type="radio"/> 合計値 <input type="radio"/> 最大値
	チェックした条件を全て満たす ▼
適用動作	遅延送出 ▼ 遅延時間 <input type="text" value="5"/> 分
通知	送信先: <input checked="" type="checkbox"/> 送信者 <input type="checkbox"/> 管理者 <input type="checkbox"/> 受信 (予定) 者 <input type="checkbox"/> 指定グループ ▼
	<input type="checkbox"/> 指定アドレス <input type="text"/>
	通知メール選択 デフォルト ▼
<input checked="" type="checkbox"/> 更新	



送信先の「管理者」をご利用の場合、「管理者」は「システム設定」 - 「基本設定」 - 「管理者メール通知」で変更することができます。

「エンベロープ From アドレスにも使用する」にチェックを入れる場合は、差出人メールアドレスのドメインを別ドメインで設定しないようご注意ください。

6. 「OK」をクリックします。

Web ページからのメッセージ ×

以下の内容で更新してもよろしいですか？

7. ルールが更新されたことを確認します。



8. 次に、遅延通知メールから URL で遅延メールの確認・送付・削除できるように、通知メールを編集します。
「ルール編集」 - 「通知メール」 をクリックします。



9. 「遅延通知 (デフォルト)」 - 「編集」 をクリックします。



10. 「通知メール件名」に任意の件名を入力し、「通知メール本文」に以下の特殊変数を組み込んだ文を入力します。

項目	値
特殊変数	<p>\$DELAYTIME : 遅延時間(分)</p> <p>\$BROWSE_URL : 遅延メール/添付ファイル暗号化メール 本文閲覧用 URL</p> <p>\$APPROVE_URL : 遅延メール/パスワード通知メール送付用 URL</p> <p>\$CANCEL_URL : 遅延メール/パスワード通知メール削除用 URL</p>
通知メール本文 例	<p>-----</p> <p>※このメールはメール・セキュリティサーバーから自動送信されています</p> <p>-----</p> <p>あなたが送信した社外宛メールは誤送信対策として、メールサーバーに \$DELAYTIME 分間保留され、自動送信されます。</p> <p>保留中に、「内容確認」、「送信取り消し」、「即時送信」が可能です。</p> <p>■保留メールの内容を確認するには以下の URL をクリックしてください。 \$BROWSE_URL</p> <p>■保留メールを直接送付するには以下の URL をクリックしてください。 \$APPROVE_URL</p> <p>■保留メールを直接削除するには以下の URL をクリックしてください。 \$CANCEL_URL</p>

通知メール

編集

コメント	遅延通知 (デフォルト)
------	--------------

差出人通知

通知メール件名	<input style="width: 90%;" type="text" value="メール遅延通知"/> <small>デフォルト: Notification: Your mail was temporarily reserved</small>
通知メール本文	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>-----</p> <p>※このメールはメール・セキュリティサーバーから自動送信されています</p> <p>-----</p> <p>あなたが送信した社外宛メールは誤送信対策として、メールサーバーに \$DELAYTIME 分間保留され、自動送信されます。</p> </div> <p><small>デフォルト: 以下のメールは外部へ送信することができませんでした。 メールサーバーに一時的に保留されています。 遅延時間(分): \$DELAYTIME MAILID: \$MAILID</small></p>
元メールの添付	<input checked="" type="radio"/> 添付する <input type="radio"/> 添付しない

管理者通知

11. 「更新」をクリックします。

元メールの添付	<input type="radio"/> 添付する <input checked="" type="radio"/> 添付しない
受信者通知	
通知メール件名	<input type="text"/> デフォルト: Notification: Your mail was temporarily reserved
通知メール本文	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 100px; width: 100%;"></div> デフォルト: 以下のメールは受信することができませんでした。 メールサーバに一時的に保留されています。 遅延時間(分): \$DELAYTIME MAILID: \$MAILID
※受信者宛の通知メールに元メールは添付されません。	
<input checked="" type="checkbox"/> 更新	

12. 「OK」をクリックします。

Web ページからのメッセージ ×

入力された内容で通知メールを更新してもよろしいですか？

13. 通知メールが更新されたことを確認します。

GUARDIANWALL <input checked="" type="checkbox"/> ルール管理 <input type="checkbox"/> ルール編集 <input type="checkbox"/> アカウント管理 <input type="checkbox"/> システム設定 <input type="checkbox"/> 人事情報連携 tenant@example.co.jp <input type="button" value="操作"/> 																					
遅延配送ルール	通知メール																				
フィルタリングルール	登録済み通知メール一覧																				
メール変換ルール	_delayを更新しました。																				
グループ	<input type="button" value="+ 新規登録"/> <input type="button" value="🗑️ 削除"/>																				
通知メール	【1~15件 / 15件】 ページ: 1																				
キーワード	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>通知メール名</th> <th>コメント</th> <th>操作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>approve</td> <td>保留後送出通知 (デフォルト)</td> <td><input type="button" value="✎ 編集"/></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>cancel</td> <td>保留後削除通知 (デフォルト)</td> <td><input type="button" value="✎ 編集"/></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>delay</td> <td>遅延通知 (デフォルト)</td> <td><input type="button" value="✎ 編集"/></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>delay_a</td> <td>遅延後送出通知 (デフォルト)</td> <td><input type="button" value="✎ 編集"/></td> </tr> </tbody> </table>	No	通知メール名	コメント	操作	1	approve	保留後送出通知 (デフォルト)	<input type="button" value="✎ 編集"/>	2	cancel	保留後削除通知 (デフォルト)	<input type="button" value="✎ 編集"/>	3	delay	遅延通知 (デフォルト)	<input type="button" value="✎ 編集"/>	4	delay_a	遅延後送出通知 (デフォルト)	<input type="button" value="✎ 編集"/>
No	通知メール名	コメント	操作																		
1	approve	保留後送出通知 (デフォルト)	<input type="button" value="✎ 編集"/>																		
2	cancel	保留後削除通知 (デフォルト)	<input type="button" value="✎ 編集"/>																		
3	delay	遅延通知 (デフォルト)	<input type="button" value="✎ 編集"/>																		
4	delay_a	遅延後送出通知 (デフォルト)	<input type="button" value="✎ 編集"/>																		
MIMEタイプ																					
メールテスト																					

14. 次に、ファイルが添付されていた際に ZIP 暗号化を行う動作のルールを作成します。

「ルール編集」 - 「メール変換ルール」 をクリックします。



15. 添付ファイル ZIP 暗号化ルールを作成するため、「新規登録」をクリックします。



16. 新規に作成された空のルールの、「編集」をクリックします。



17. 外部宛でのメールアドレスを対象とするため、「宛先条件」の「ヘッダーTo,Cc」にチェックを入れ、メールアドレス欄に契約ドメインを入力します。

文字列の前後のみ、長さ 0 以上の任意の文字列と一致するワイルドカード「*」が指定可能です。

また、内部宛て以外のメールアドレスを対象とするため、「一致しない」にチェックを入れます。

メール変換ルール

編集

↻ 入力編集モードに切替

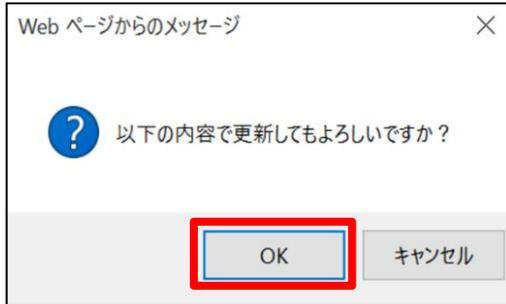
行:1	ID: 1	説明: 外部宛てメールの添付ファイルZIP暗号化ルール
差出人条件	<input type="radio"/> ヘッダーFrom <input type="radio"/> エンベロープFrom <input checked="" type="radio"/> 差出人条件の指定無し	メールアドレス: <input type="text"/> グループ: <input type="text"/> 選択 ※グループ選択時はメールアドレスの値は無視 一致する <input type="button" value="v"/>
宛先条件	<input checked="" type="radio"/> ヘッダーTo,Cc <input type="radio"/> エンベロープTo <input type="radio"/> 宛先条件の指定無し	メールアドレス: <input type="text" value="*@example.co.jp"/> グループ: <input type="text"/> 選択 ※グループ選択時はメールアドレスの値は無視 一致しない <input type="button" value="v"/>

18. 指定した条件の宛先に送った添付ファイルを ZIP 暗号化するため、適用動作の「添付ファイル暗号化」とパスワード通知の「送信者」にチェックを入れ、「更新」をクリックします。

チェックした条件を全て満たす

適用動作	<input checked="" type="checkbox"/> 添付ファイル暗号化 <input type="button" value="v"/> <input type="checkbox"/> 添付ファイルのダウンロードリンク化 <input type="checkbox"/> 添付ファイル暗号化	暗号化方式: <input type="text" value="ZipCrypto"/> ファイル名の文字コード: <input type="text" value="Shift-JIS"/> 暗号化パスワード: <input checked="" type="radio"/> ランダム <input type="radio"/> 固定 <input type="text" value="固定パスワード"/> 暗号化ファイル名: <input type="text" value="指定しない"/> <input type="text" value="\$ENCTIME.zip"/> パスワード通知: <input checked="" type="checkbox"/> 送信者 <input type="checkbox"/> 受信 (予定) 者 (遅延時間 <input type="text"/> 分) <input type="checkbox"/> 宛先Bcc変換 <input type="checkbox"/> ヘッダーFromアドレスをヘッダーToアドレスに指定する
------	--	--

19. 「OK」をクリックします。



20. ルールが更新されたことを確認します。



21. 作成したルールを本番環境に反映させます。「ルール編集」 - 「ポリシー適用管理」をクリックします。



22. ルールを即時で反映させるため、「即時適用」の「適用」をクリックします。

The screenshot shows the 'ポリシー適用管理' (Policy Application Management) page. The left sidebar lists various rule categories. The main content area is divided into 'ポリシー適用管理' and 'スケジュール適用' (Schedule Application). Under 'スケジュール適用', there are settings for 'スケジュール適用' (Schedule Application), '適用日時' (Application Date/Time), '通知先' (Notification Recipient), and '通知条件' (Notification Conditions). At the bottom of this section, there is a '即時適用' (Apply Immediately) button with a red box around the '適用' (Apply) sub-button.

23. 「実行」をクリックします。

The screenshot shows the 'ポリシー適用管理' (Policy Application Management) page. The main content area is now '即時適用' (Apply Immediately). A message asks: '編集中のすべてのルールを本番環境に書ききてもよろしいですか?' (Are you sure you want to write all rules being edited to the production environment?). Below the message are two buttons: '実行' (Execute) with a green checkmark and 'キャンセル' (Cancel) with a red X. The '実行' button is highlighted with a red box.

24. 遅延配送ルールとメール変換ルールと通知メールが反映され、「ルール管理最終更新時刻」の日時が更新されたことを確認します。

	遅延配送ルール	ルール管理最終更新時刻	ルール編集最終更新時刻
遅延配送ルール	遅延配送ルール	2021/01/21 16:45:16	2021/01/21 16:45:16
フィルタリングルール	フィルタリングルール	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
メール変換ルール	メール変換ルール	2021/01/21 17:00:22	2021/01/21 17:00:22
グループ	グループ	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
通知メール	通知メール	2021/01/21 16:55:28	2021/01/21 16:55:28
キーワード	キーワード	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--
MIMEタイプ	MIMEタイプ	----/--/-- --:--:--	----/--/-- --:--:--

25. 本番環境に遅延配送ルールが反映されたことを確認します。

「ルール管理」 - 「遅延配送ルール」をクリックします。

26. 作成したルールが本番環境に反映されていることを確認します。

行	ID	説明	差出人条件	宛先条件	数値条件	動作	通知
1	1	遅延配送ルール (一時保留後、送出)	*	RCPT!=="@example.co.jp	0	遅延送出 5分	送信者 通知メール:デフォルト

27. 通知メールについても同様に確認します。

「ルール管理」- 「通知メール」をクリックします。



28. 「_delay」をクリックします。

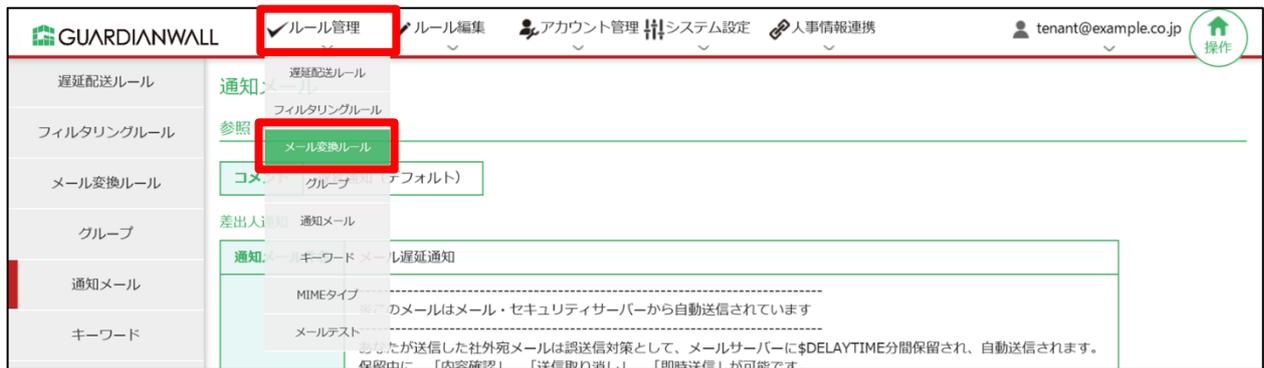


29. 通知メールの件名と本文が本番環境に反映されていることを確認します。



30. メール変換ルールについても同様に確認します。

「ルール管理」 - 「メール変換ルール」をクリックします。



31. 作成したルールが本番環境に反映されていることを確認します。



以上で、ルールの作成は完了です。

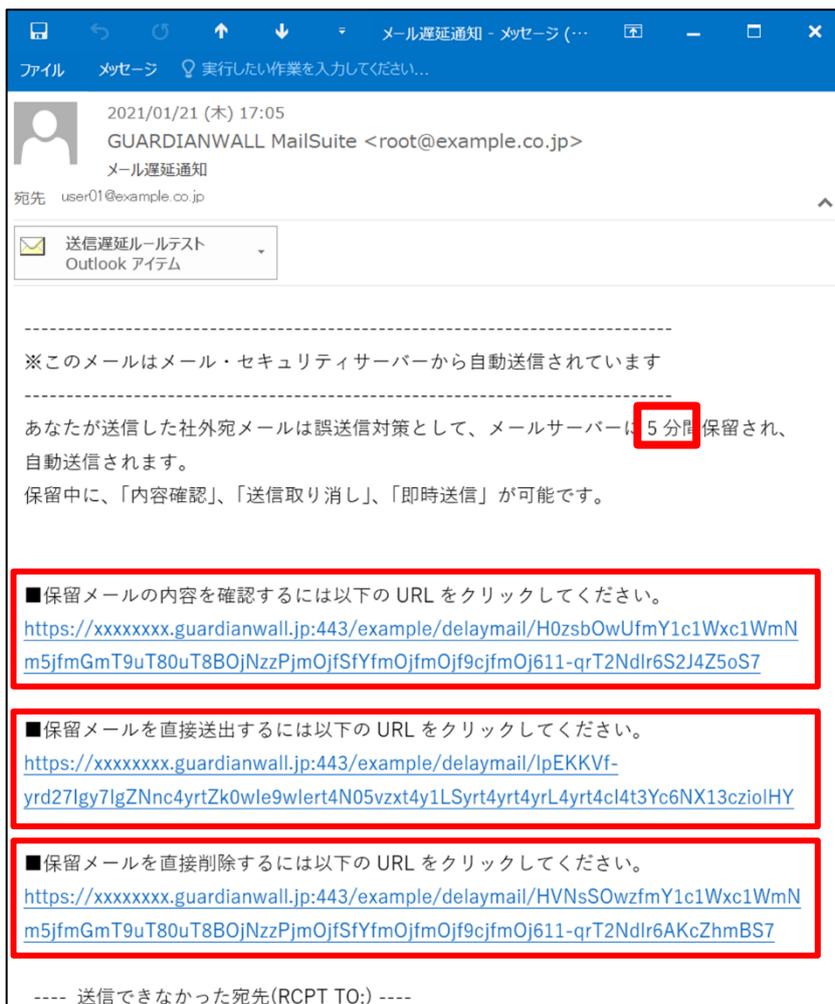
2.4.4 テストメールの送信

テストメールを送信し、外部ドメイン宛てに送信したメールが一定時間遅延され、添付ファイルはZIP暗号化されていることを確認してください。

1. 外部ドメイン宛てにファイルを添付しているメールを送信します。
2. メールが遅延されたことをお知らせする通知メールが届き、遅延時間が設定した5分になっていることを確認します。確認後、「保留メールの内容を確認する」のURLをクリックしてください。

各リンクをクリックすることによって、内容の確認や送出、削除の操作を行うことができます。

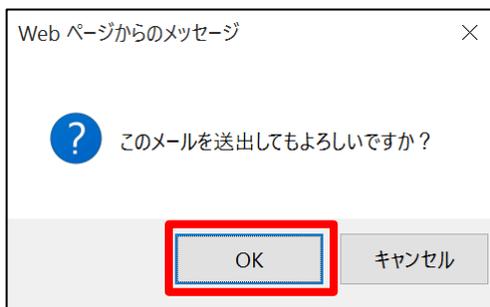
項目	説明
保留メールの内容を確認する～	内容の確認およびメールの送出・削除(送出の中止)を行うことができます。
保留メールを直接送出する～	URL をクリック時、遅延時間を待たずにメールを送出します。
保留メールを直接削除する～	URL をクリック時、削除してメールの送出を中止します。



3. メールの内容を確認し、問題が無ければ、画面上部の「送付」をクリックします。



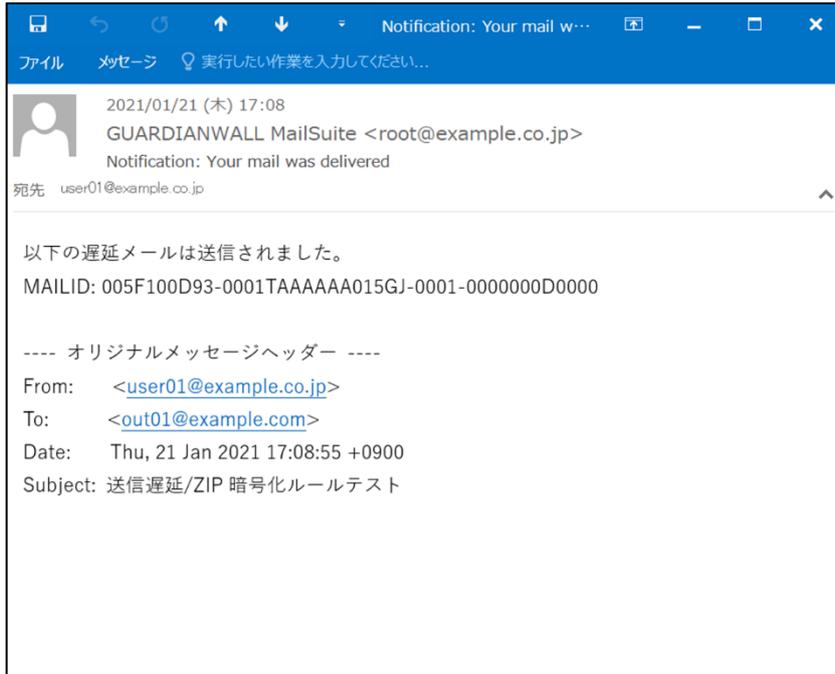
4. 「OK」をクリックします。



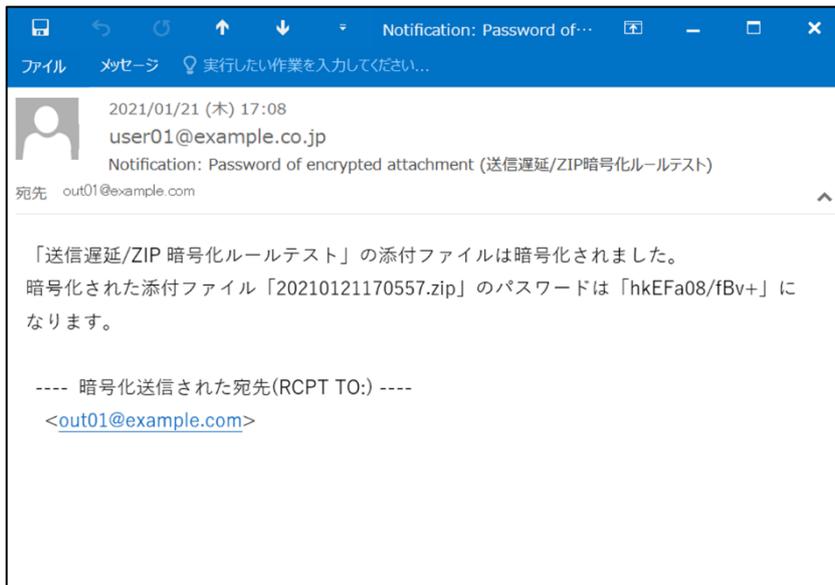
5. 「遅延メールを送出しました。」と表示されることを確認します。



6. 送信者に送信されたことを通知するメールが届くことを確認します。



7. また、ZIP 暗号化されたファイルのパスワード通知メールが届くことを確認します。



- 宛先に届いた ZIP 暗号化されたファイルが届くことを確認します。
送信者に届いたパスワードで解凍できることを確認します。



以上で、メール送信遅延ルールおよび添付ファイルZIP暗号化ルールの動作確認は完了です。

3. マニュアルの確認手順

[2.ご利用シーンごとのルール作成・確認手順]でご紹介した機能のほかに、ご利用いただける機能がございます。その他の機能のご利用方法を確認する際に使用する、GUARDIANWALLのマニュアルの確認手順をご紹介します。

※GUARDIANWALLのマニュアルに記載されている機能の中に、Mailセキュリティ・クラウドではご利用いただけない機能がございます。ご利用いただけない機能につきましては、[Appendix]-[1.ご利用いただけない機能]をご確認ください。

マニュアルの確認手順は以下の二つになります。

- ・ GUARDIANWALL管理画面のマニュアルボタンから確認
- ・ ユーザーズサイトからマニュアルのZIPをダウンロードして閲覧

3.1 管理画面からの確認手順

GUARDIANWALLの管理画面からGUARDIANWALLのマニュアルを確認する手順をご紹介します。

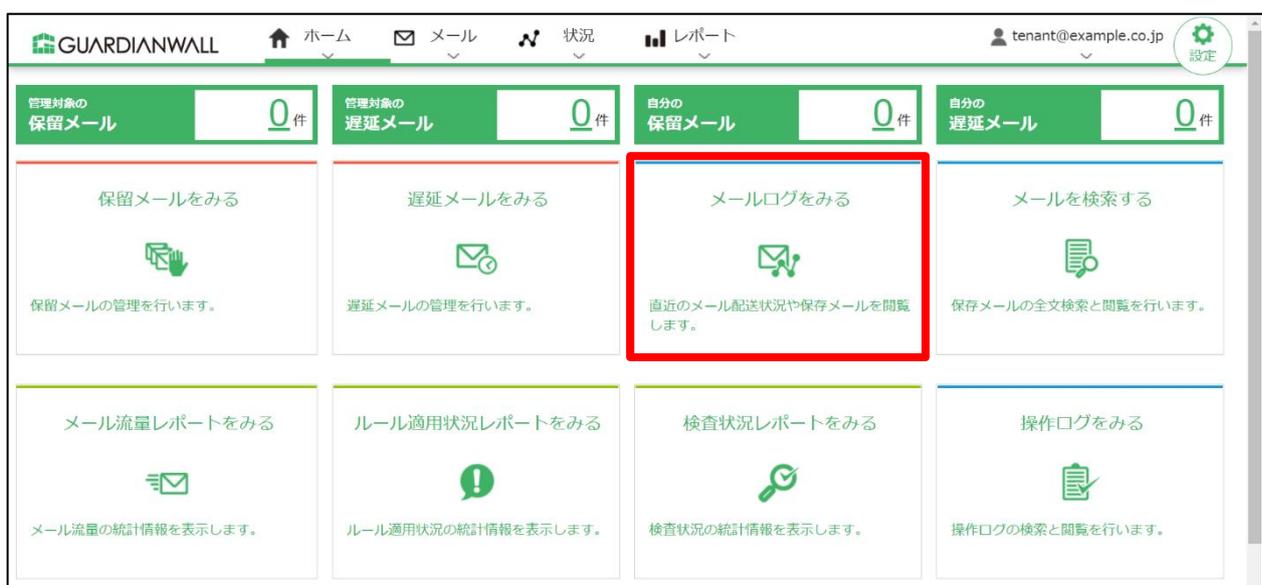
各機能のマニュアル閲覧方法は以下の三つになります。

- ・ マニュアルボタンから閲覧
- ・ 目次から閲覧
- ・ クイック検索から閲覧

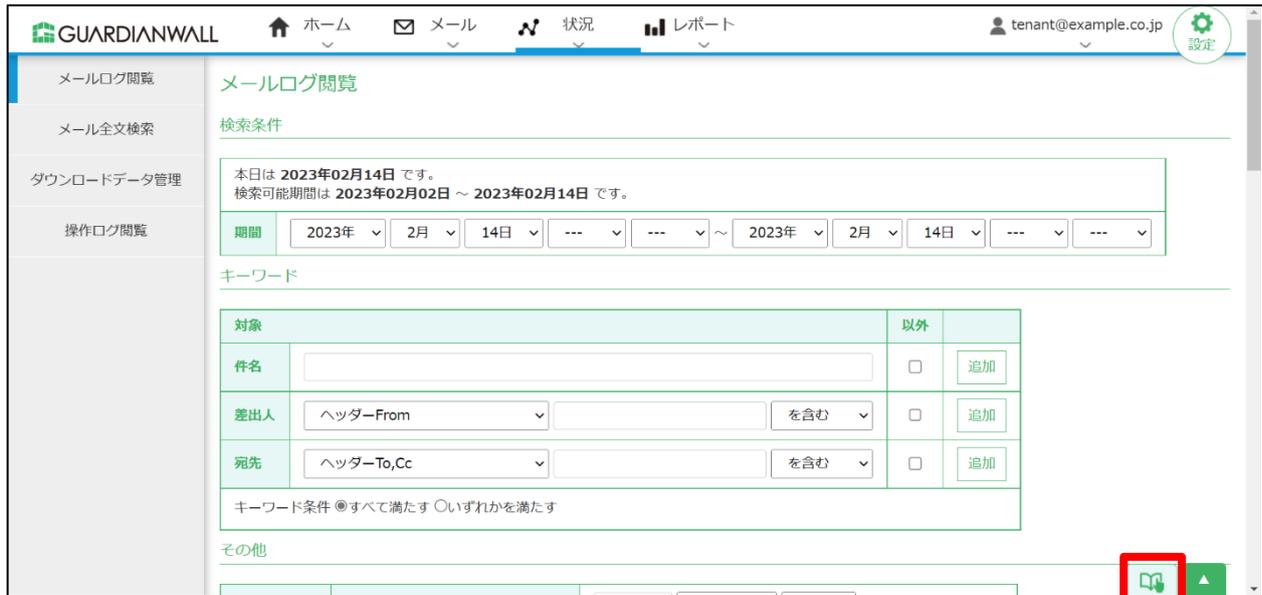
1 マニュアルボタンから閲覧

1. Web ブラウザより管理画面へログインします。ログイン後、マニュアルを確認したいメニューの画面に移動します。

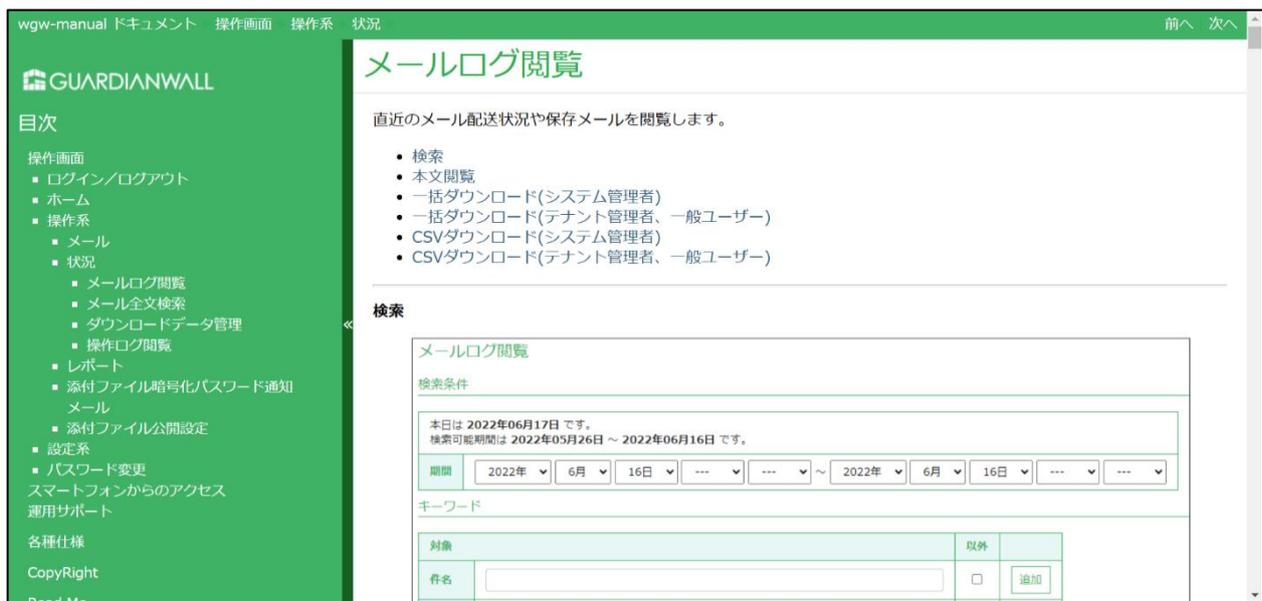
※本手順では、例として「メールログをみる」のマニュアルを確認します。



2. 画面の右下にある「マニュアルボタン」をクリックします。

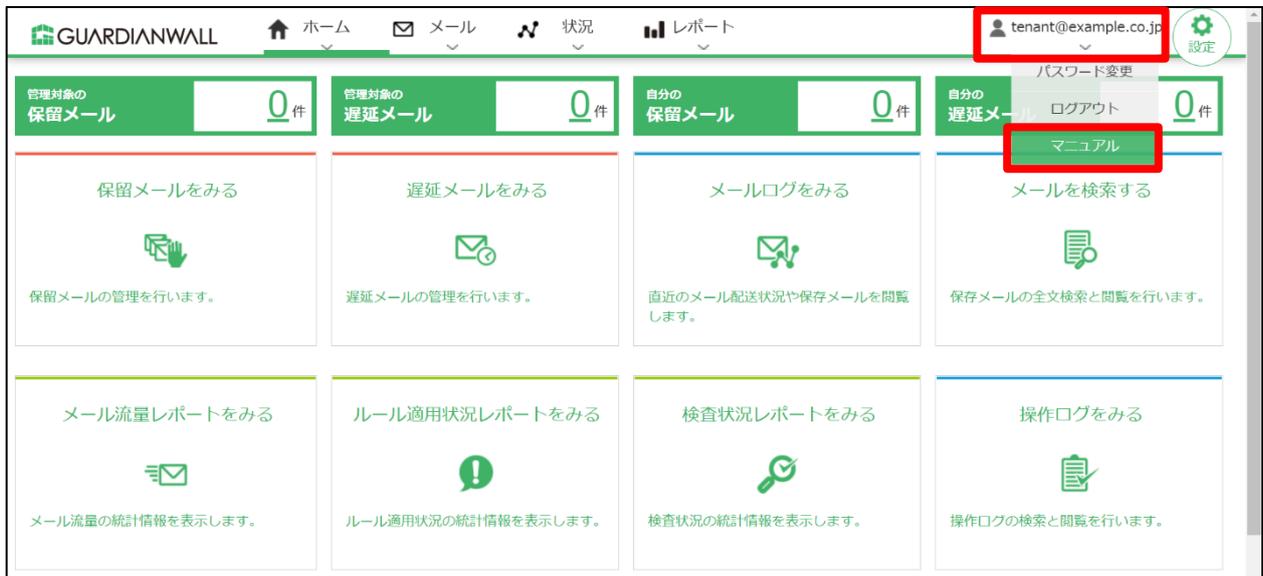


3. 該当した機能のマニュアルページが表示されます。



2 目次から閲覧

1. Web ブラウザより管理画面へログインします。ログイン後、右上のアカウント名にカーソルを合わせると、「マニュアル」が表示されるのでクリックします。



2. 「情報管理者向けマニュアル」の画面が表示されますので、「目次」から閲覧したい項目をクリックすると、マニュアルを閲覧することができます。

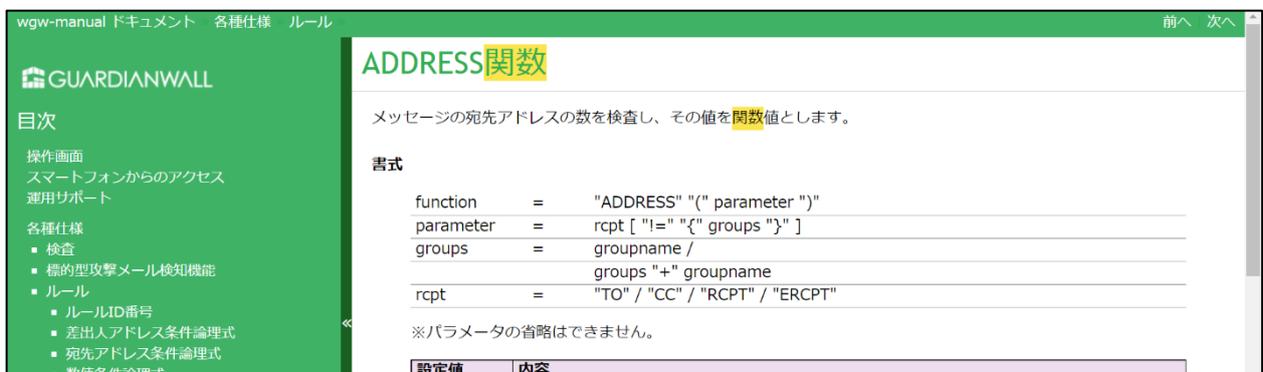


3 クイック検索から閲覧

1. 「情報管理者向けマニュアル」の画面から、左下の「クイック検索」にキーワードを入力した後、「検索」をクリックします。



2. 検索結果の中から、閲覧したい項目をクリックすると、マニュアルを閲覧することができます。



以上で、管理画面からの確認手順は終了です。

3.2 ユーザーズサイトからのダウンロード手順

ユーザーズサイトからGUARDIANWALLのマニュアルをダウンロードする手順をご紹介します。

1. Web ブラウザよりユーザーズサイトへ接続します。以下の情報を入力し、「ログイン」をクリックします。

項目	値
URL	サービス登録完了書に記載されたユーザーズサイト URL
ログイン ID	サービス登録完了書に記載されたユーザーズサイトログイン ID
パスワード	サービス登録完了書に記載されたユーザーズサイトパスワード

GUARDIANWALL

GUARDIANWALLユーザーズサイト

ログインID

パスワード

ログイン

Secured by SECOM

クラウド上で
証明書の内容を
ご確認ください。

2. 「Mail セキュリティ」 - 「Mail セキュリティ・クラウド」をクリックします。

GUARDIANWALL

各種情報

Mailセキュリティ

Webセキュリティ

旧製品

Mailセキュリティ・クラウド

Mailセキュリティ・クラウド

Mailセキュリティ・クラウド

各種情報 > ニュース

プレスリリース、お知らせ

更新履歴

2020.7.27

[「GUARDIANWALL Mailセキュリティ・クラウド ベーシック」発売記念キャンペーンを実施](#)

2020.3.24

[簡単かつ迅速に導入できるクラウド型メール情報漏えい対策サービス「GUARDIANWALL Mailセキュリティ・クラウド」の提供を開始](#)

人をつなぐ、つながりを守る

GUARDIANWALL

3. マニュアルダウンロードにて「情報管理者向けマニュアル 日本語版」の「ダウンロード」をクリックします。

マニュアルダウンロード

以下のリストからダウンロードしてご利用ください。

マニュアル	内容	公開月/更新月	ダウンロード
Mailセキュリティ・クラウド プレミアム スタートアップガイド	Mailセキュリティ・クラウド プレミアムを初めて使う場合についてご説明しています。まずは、こちらをご参照ください。	2020年10月	ダウンロード
Mailセキュリティ・クラウド プレミアム ユーザー運用ガイド	Mailセキュリティ・クラウド プレミアムを運用する場合についてご説明しています。スタートアップガイドをご参照後に、こちらをご参照ください。	2020年3月	ダウンロード
GUARDIANWALL MailSuite 情報管理者向けマニュアル	フィルタリングルール作成方法や保留メール操作方法などについてご説明しています。 ※ZIPファイルを展開し、以下のHTMLをご覧ください。 <日本語版 展開先フォルダ>%grdn-wgw-manual-ja¥index.html <英語版 展開先フォルダ>%grdn-wgw-manual-en¥index.html	2020年3月	日本語版 ダウンロード 英語版 ダウンロード

4. 「名前を付けて保存」をクリックします。

Internet Explorer

wgw-manual_1_3_26_ja.zip で行う操作を選んでください。

サイズ: 31.2 MB
サイト: canon-its.jp

→ 開く(O)
ファイルは自動保存されません。

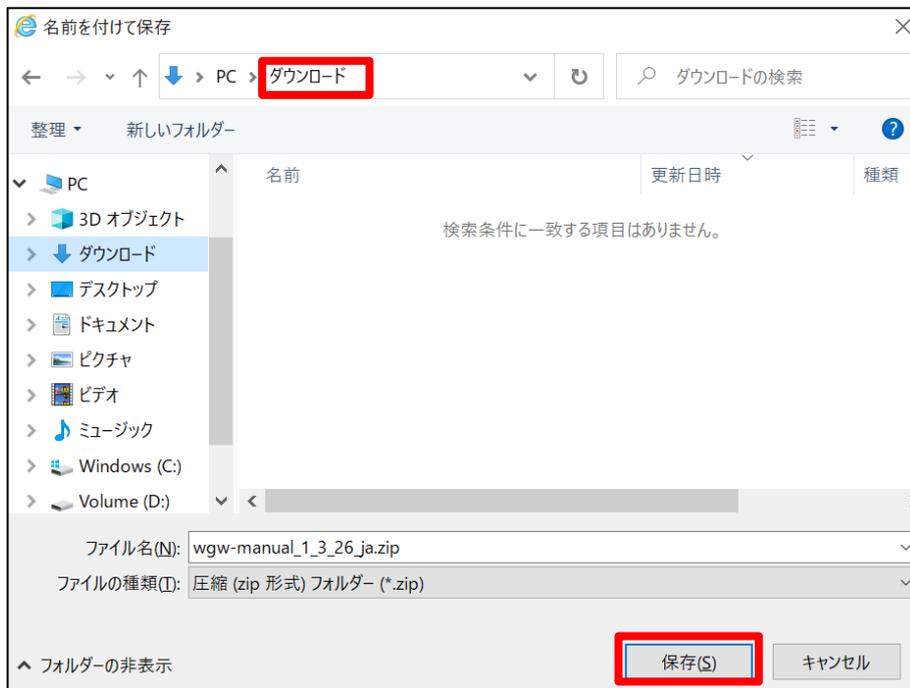
→ 保存(S)

→ 名前を付けて保存(A)

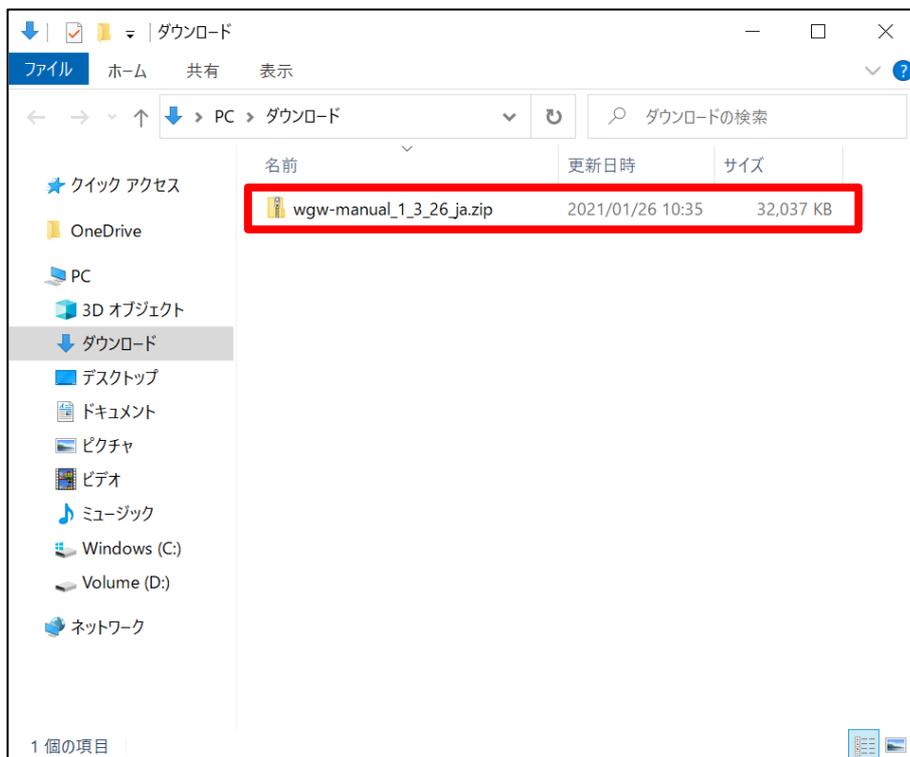
キャンセル

5. ダウンロードするファイルの保存先を選択し、「保存」をクリックします。

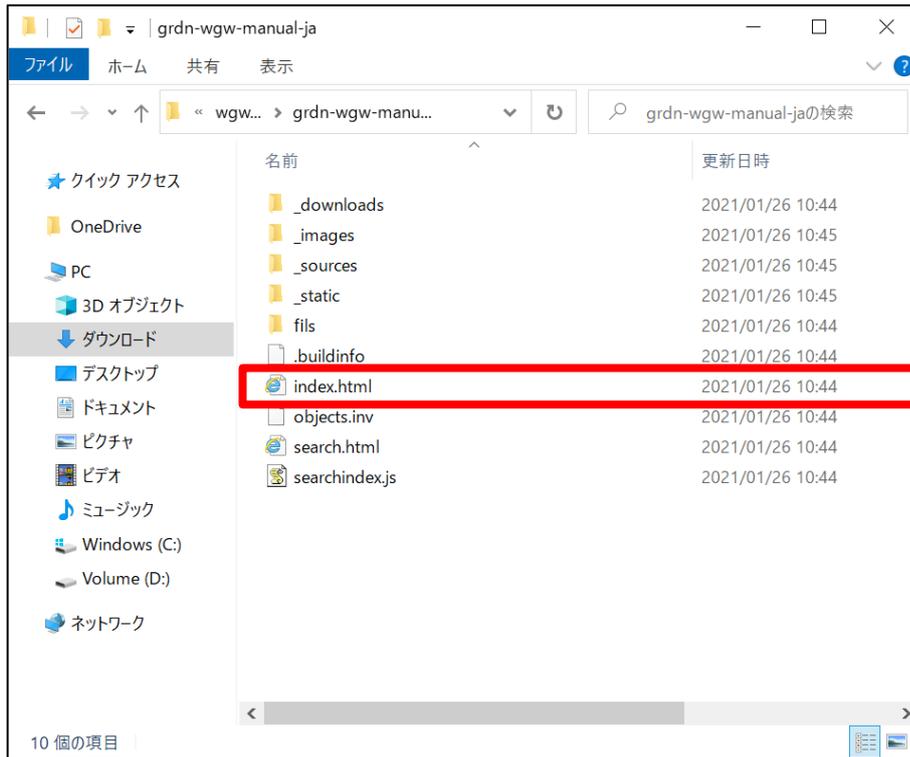
※本手順では「ダウンロード」を保存先に選択しています。



6. 保存先に選択した場所からダウンロードした zip ファイルを解凍します。



7. 解凍したファイルの「index.html」をダブルクリックします。



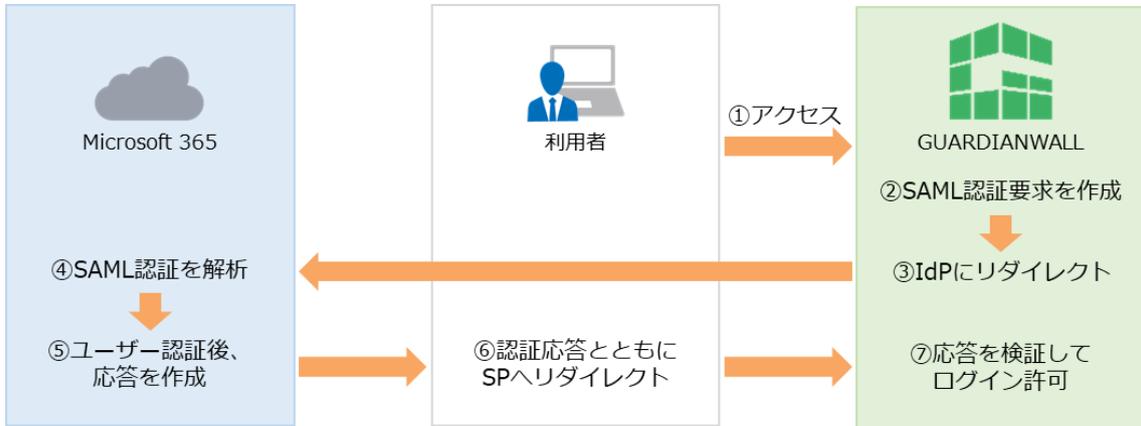
8. 「情報管理者向けマニュアル」の画面が表示されます。閲覧方法は[3.1 管理画面からの確認手順]と同様になります。



以上で、ユーザズサイトからのダウンロード手順は終了です。

4. Microsoft 365 でシングルサインオンを実施する

Mailセキュリティ・クラウド プレミアムでMicrosoft Entra IDのユーザーでのシングルサインオンを実施する場合の手順を紹介いたします。

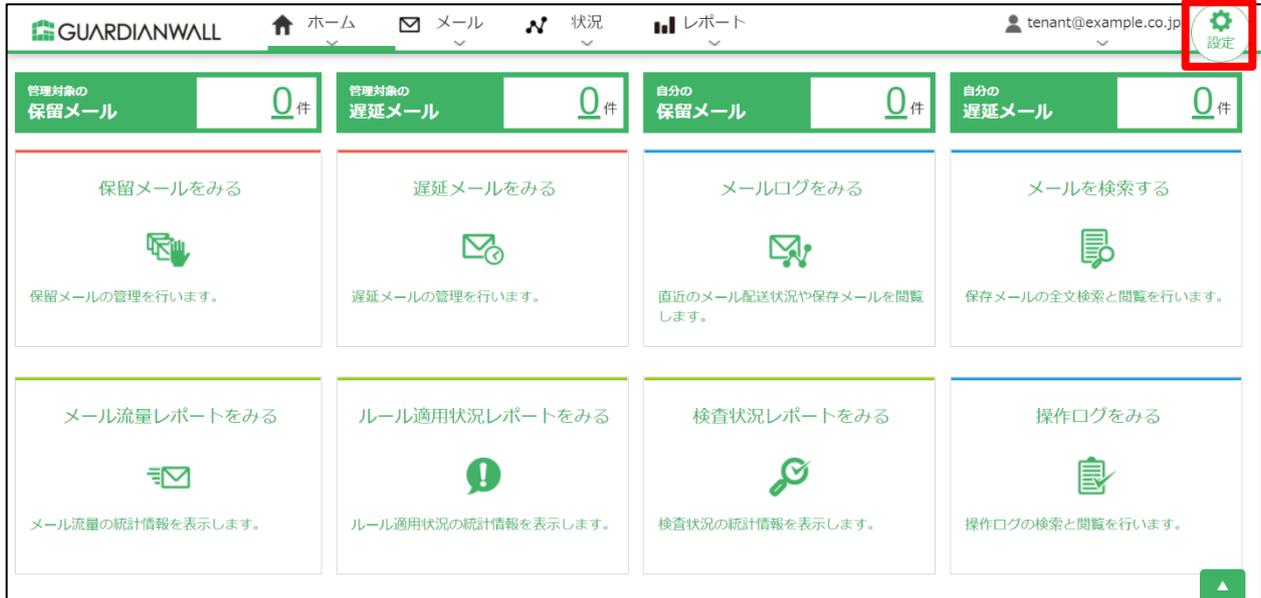


	該当の章・項目
認証用アプリケーション ID の確認	4.1 事前準備
Microsoft Entra ID エンタープライズアプリケーションの作成	4.2 Microsoft 365 の設定
シングルサインオン設定	4.3.1 Mail セキュリティ・クラウドのシングルサインオン設定
SAML 認証用アカウント作成	4.3.2 Mail セキュリティ・クラウド SAML 認証用アカウント作成
シングルサインオンによるログイン	4.4 シングルサインオンによるログイン確認

4.1 事前準備

Mailセキュリティ・クラウドでのSAML認証用アプリケーションIDの確認手順をご紹介します。

1. 管理画面へログインし、画面右上の「設定」をクリックします。



2. 「アカウント管理」 - 「セキュリティ」をクリックします。



3. 「シングルサインオン」 - 「アプリケーション ID」「応答 URL」をメモしてください。後の手順で使用します。

アカウント	セキュリティ設定						
権限テンプレート	シングルサインオン						
セキュリティ	<table border="1"><tr><td>SAML認証</td><td><input type="radio"/>オフ <input type="radio"/>オン</td></tr><tr><td>アプリケーションID</td><td>https://prwkxxx.guardianwall.jp/example/saml</td></tr><tr><td>応答URL</td><td>https://prwkxxx.guardianwall.jp/example/saml/sign_in</td></tr></table>	SAML認証	<input type="radio"/> オフ <input type="radio"/> オン	アプリケーションID	https://prwkxxx.guardianwall.jp/example/saml	応答URL	https://prwkxxx.guardianwall.jp/example/saml/sign_in
SAML認証	<input type="radio"/> オフ <input type="radio"/> オン						
アプリケーションID	https://prwkxxx.guardianwall.jp/example/saml						
応答URL	https://prwkxxx.guardianwall.jp/example/saml/sign_in						
	アカウントロック失敗回数閾値						

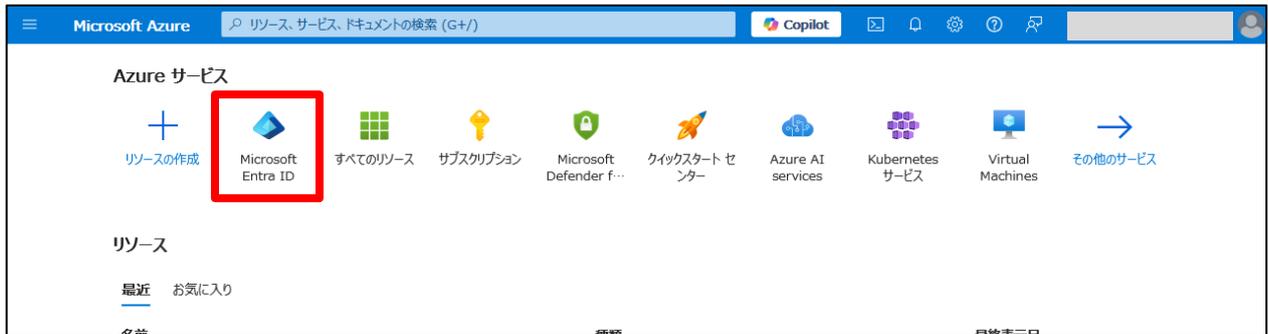
項目	メモ
アプリケーション ID	
応答 URL	

以上で、SAML認証用アプリケーションIDの確認は完了です。

4.2 Microsoft 365 の設定

Microsoft Entra ID エンタープライズアプリケーションを作成し、ユーザーを割り当てる手順をご紹介します。

1. 「https://portal.azure.com/」 にアクセスし、管理者権限を持つ Microsoft 365 アカウントでログインします。
2. 「Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory)」を選択します。



3. 左メニューの「管理」の「エンタープライズアプリケーション」をクリックします。



4. 「+新しいアプリケーション」をクリックします。



5. 「+独自のアプリケーションの作成」をクリックします。



6. 以下の値に設定し、「作成」をクリックします。

項目	値
アプリ名	GUARDIANWALL Mail Security Cloud
アプリケーションでどのような操作を行いたいですか？	ギャラリーに見つからないその他のアプリケーションを統合します (ギャラリー以外)

独自のアプリケーションの作成 ×

 フィードバックがある場合

独自のアプリケーションを開発している場合、アプリケーション プロキシを使用している場合、またはギャラリーにないアプリケーションを統合する必要がある場合は、ここで独自のアプリケーションを作成できます。

お使いのアプリの名前は何ですか？

アプリケーションでどのような操作を行いたいですか？

オンプレミスのアプリケーションへのセキュリティで保護されたリモート アクセス用のアプリケーション プロキシを構成します

アプリケーションを登録して Microsoft Entra ID と統合します (開発中のアプリ)

ギャラリーに見つからないその他のアプリケーションを統合します (ギャラリー以外)

エントリーと一致する可能性がある次のアプリケーションが見つかりました
 可能な場合はギャラリー アプリケーションを使用することをお勧めします。

 Menlo Security Isolation Platform

 TALON Talon

作成

7. 左メニューの「管理」の「シングル サインオン」をクリックします。



8. 「SAML」をクリックします。



9. 「編集」をクリックします。



10. 識別子 (エンティティ ID) の「識別子の追加」をクリックします。



11. 識別子 (エンティティ ID)に[4.1 事前準備]の手順 3 でコピーしたアプリケーション ID を入力します。



12. 応答 URL (Assertion Consumer Service URL)の「応答 URL の追加」をクリックします。



13. 応答 URL (Assertion Consumer Service URL)に[4.1 事前準備]の手順 3 でコピーした応答 URL を入力します。

基本的な SAML 構成
✕

保存 | フィードバックがある場合

識別子 (エンティティ ID) * ⓘ

Microsoft Entra ID に対してアプリケーションを識別する一意の ID。この値は、Microsoft Entra ID テナント内のすべてのアプリケーションで一意である必要があります。既定の識別子は、IDP で開始された SSO の SAML 応答の対象ユーザーになります。

既定

✓
☑
ⓘ
🗑️

[識別子の追加](#)

応答 URL (Assertion Consumer Service URL) * ⓘ

応答 URL は、アプリケーションが認証トークンを受け取る場所です。これは、SAML では *"Assertion Consumer Service*" (ACS) とも呼ばれます。

イン… 既定

✓
☑
ⓘ
🗑️

[応答 URL の追加](#)

サインオン URL (省略可能)

サービスプロバイダーによって開始されたシングルサインオンを実行する場合は、サインオン URL が使用されます。この値は、アプリケーションのサインインページの URL です。ID プロバイダーによって開始されたシングルサインオンを実行する場合、このフィールドは不要です。

✓

14. 保存をクリックします。

基本的な SAML 構成
✕

保存 | フィードバックがある場合

識別子 (エンティティ ID) * ⓘ

Microsoft Entra ID に対してアプリケーションを識別する一意の ID。この値は、Microsoft Entra ID テナント内のすべてのアプリケーションで一意である必要があります。既定の識別子は、IDP で開始された SSO の SAML 応答の対象ユーザーになります。

既定

✓
☑
ⓘ
🗑️

[識別子の追加](#)

応答 URL (Assertion Consumer Service URL) * ⓘ

応答 URL は、アプリケーションが認証トークンを受け取る場所です。これは、SAML では *"Assertion Consumer Service*" (ACS) とも呼ばれます。

イン… 既定

✓
☑
ⓘ
🗑️

[応答 URL の追加](#)

サインオン URL (省略可能)

サービスプロバイダーによって開始されたシングルサインオンを実行する場合は、サインオン URL が使用されます。この値は、アプリケーションのサインインページの URL です。ID プロバイダーによって開始されたシングルサインオンを実行する場合、このフィールドは不要です。

✓

15. 下にスクロールし、SAML 証明書まで移動します。



16. 「アプリのフェデレーション メタデータ URL」の URL をコピーしてテキストに張り付けます。



17. 「ユーザーとグループ」をクリックします。

GUARDIANWALL Mail Security Cloud | SAML ベースのサインオン

概要

デプロイ計画

問題の診断と解決

管理

- プロパティ
- 所有者
- ロールと管理者
- ユーザーとグループ**
- シングルサインオン
- プロビジョニング
- アプリケーション プロキシ
- セルフサービス
- カスタム セキュリティ属性

SAML 証明書

トークン署名証明書

状態: アクティブ

押印: [Redacted]

有効期限: 2027/12/3 11:46:56

通知用メール: [Redacted]

アプリのフェデレーション メタデータ URL: <https://login.microsoftonline.com/12313cda...>

証明書 (Base64): [ダウンロード](#)

証明書 (未加工): [ダウンロード](#)

フェデレーション メタデータ XML: [ダウンロード](#)

検証証明書 (オプション)

必須: いいえ

アクティブ: 0

有効期限切れ: 0

18. 「+ユーザーまたはグループの追加」をクリックします。

GUARDIANWALL Mail Security Cloud | ユーザーとグループ

概要

デプロイ計画

問題の診断と解決

管理

- プロパティ
- 所有者
- ロールと管理者
- ユーザーとグループ**
- シングルサインオン

+ ユーザーまたはグループの追加

割り当ての編集 | 削除 | 資格情報の更新 | 列 | フィードバックがある場合

アプリケーションは、割り当てられたユーザーのマイ アプリ内に表示されます。これを表示しないようにするには、プロパティの中で [ユーザーに表示しますか?] を [いいえ] に設定します。 →

ここで、アプリケーションのアプリのロールにユーザーとグループを割り当てます。このアプリケーションの新しいアプリのロールを作成するには、[アプリケーション登録](#)を使用します。

最初の 200 件を表示しています。すべてのユ...

表示名	オブジェクトの種類	割り当てられたロール
アプリケーションの割り当てが見つかりませんでした		

19. 「選択されていません」をクリックします。

GUARDIANWALL Mail Security Cloud | 割り当ての追加

概要

デプロイ計画

問題の診断と解決

管理

- プロパティ
- 所有者
- ロールと管理者
- ユーザーとグループ**
- シングルサインオン

お客様の Active Directory プランレベルでは、グループを割り当てることができません。個々のユーザーをアプリケーションに割り当てることができます。

ユーザー

選択されていません

ロールを選択してください

User

20. シングルサインオンを行うユーザーをクリックします。

※シングルサインオンを行うユーザーが複数いる場合は、該当のユーザーをすべて選んでください。



21. 「選択」をクリックします。



22. 「割り当て」をクリックします。



23. 「アプリケーションの割り当てが成功しました」と表示されます。



以上で、Microsoft Entra ID エンタープライズアプリケーションの作成は完了です。

4.3 Mail セキュリティ・クラウドの設定

Mailセキュリティ・クラウドのシングルサインオンの設定と、Mailセキュリティ・クラウド SAML認証用アカウントの作成を行います。

4.3.1 Mail セキュリティ・クラウドのシングルサインオン設定

Mailセキュリティ・クラウドのシングルサインオンの設定手順をご紹介します。

1. 管理画面へログインし、画面右上の「設定」をクリックします。



2. 「アカウント管理」 - 「セキュリティ」をクリックします。



3. 「シングルサインオン」に以下の値を入力します。

項目	値
SAML 認証	オン
IdP メタデータ (※)	[4.2 Microsoft 365 の設定]の手順 15 でコピーした[フェデレーション メタデータドキュメント]

The screenshot shows the 'セキュリティ設定' (Security Settings) page for 'シングルサインオン' (Single Sign-On). The 'SAML 認証' (SAML Authentication) option is selected as 'オン' (On). The 'IdP メタデータ (※)' (IdP Metadata) field is set to 'URL: https://login.microsoftonline.com/xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx/federatio'. Other fields include 'アプリケーションID' (Application ID) and '応答URL' (Response URL).

以上で、Mailセキュリティ・クラウドのシングルサインオンの設定は完了です。

4.3.2 Mail セキュリティ・クラウド SAML 認証用アカウント作成

Microsoft Entra IDで作成したアカウントと同じアカウント名を持つアカウントをMailセキュリティ・クラウド側で作成する手順をご紹介します。

1. 管理画面へログインし、画面右上の「設定」をクリックします。

The screenshot shows the GuardianWall management dashboard. The '設定' (Settings) icon, represented by a gear, is highlighted with a red box in the top right corner of the page header. The dashboard includes navigation links for 'ホーム' (Home), 'メール' (Mail), '状況' (Status), and 'レポート' (Reports), along with user information 'tenant@example.co.jp'.

2. 「アカウント管理」 - 「アカウント」をクリックします。

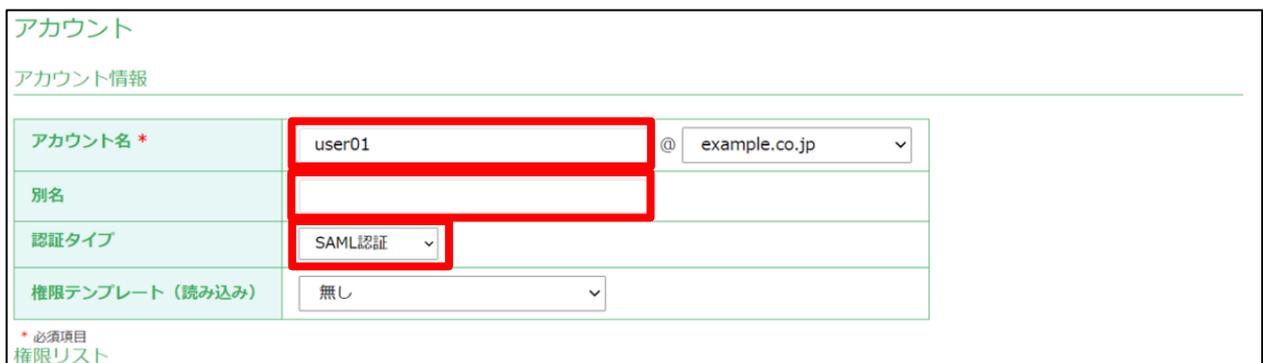


3. 「新規登録」をクリックします。



4. 以下の値に設定します。

項目	設定値
アカウント名	Microsoft Entra ID で作成したアカウントと同一
別名	任意
認証タイプ	SAML 認証



5. 各種権限の設定はお客様の環境に合わせて設定してください。

6. 「登録」をクリックします。

ルール編集		無し ▾
アカウント管理		無し ▾
システム設定	基本設定 情報検査機能設定 メール保存機能設定	無し ▾
<input checked="" type="checkbox"/> 登録		

7. アカウントが作成されたことを確認します。

GUARDIANWALL ✓ルール管理 ✎ルール編集 👤アカウント管理 🏠システム設定 🔗人事情報連携 👤tenant@example.co.jp 🏠操作

アカウント アカウント

権限テンプレート 登録済みアカウント一覧

セキュリティ

アカウント名/別名 🔍 検索 🔄 全件表示

【1~3 件 / 3 件】 ページ: 1

No	アカウント名	別名	操作	操作
1	admin@example.co.jp	システム管理者	<input checked="" type="button" value="✎ 編集"/>	-
2	tenant@example.co.jp		<input checked="" type="button" value="✎ 編集"/>	<input checked="" type="button" value="✓ パスワードリセット"/>
3	user01@example.co.jp		<input checked="" type="button" value="✎ 編集"/>	<input checked="" type="button" value="✓ パスワードリセット"/>

【1~3 件 / 3 件】 ページ: 1

以上で、SAML認証用アカウントの作成は完了です。

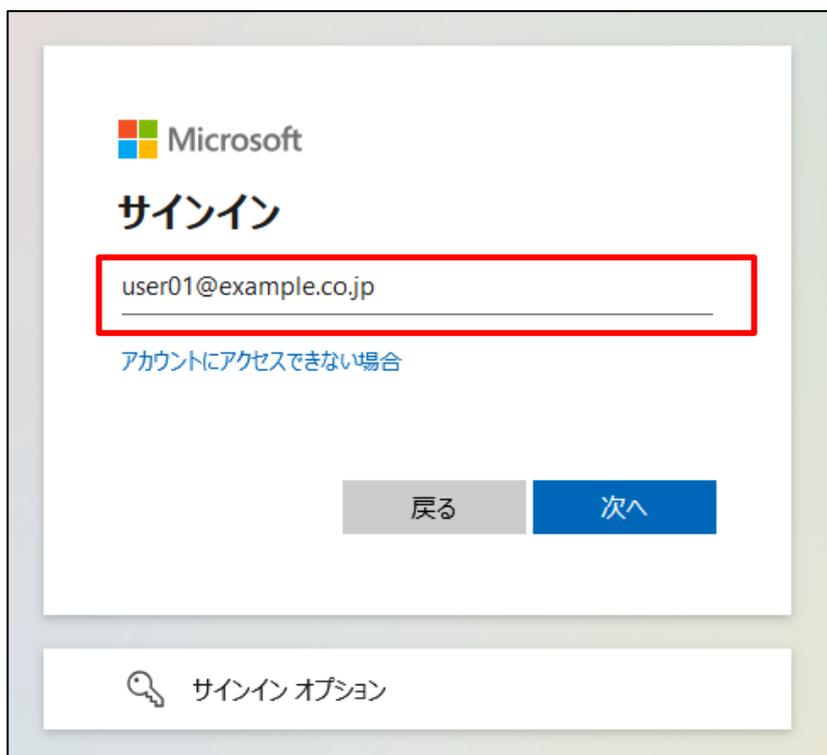
4.4 シングルサインオンによるログイン確認

シングルサインオンでMailセキュリティ・クラウドにログインする手順をご紹介します。

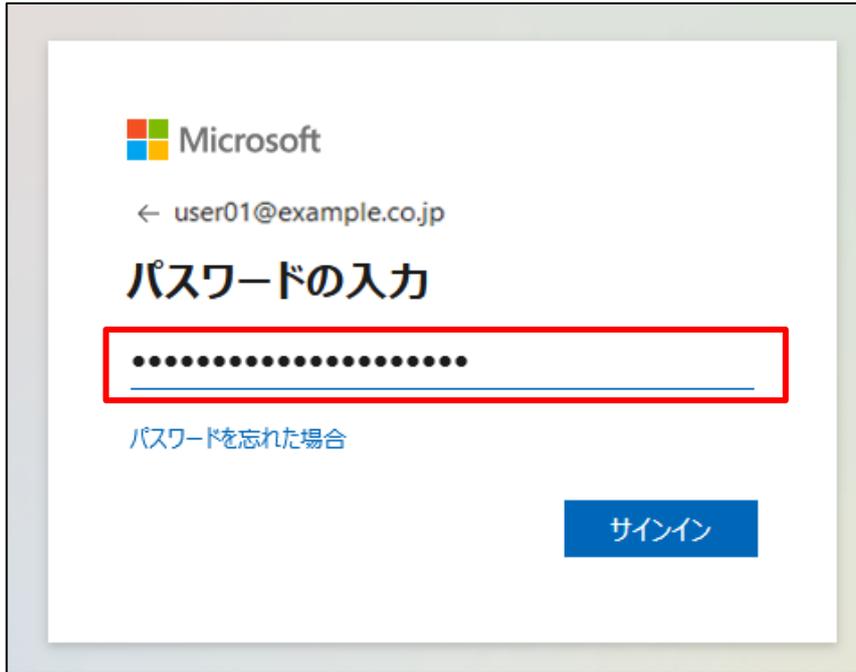
1. 管理画面にアクセスし、「認証サービスでログイン」をクリックします。



2. Microsoft 365 のアカウントを入力します。



3. Microsoft 365 のパスワードを入力します。



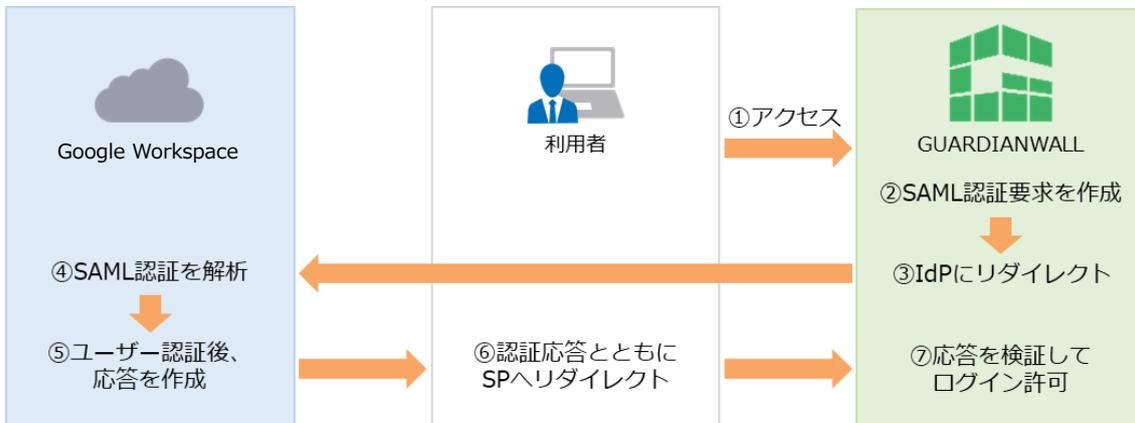
4. Mail セキュリティ・クラウドにログインできることを確認します。



以上で、シングルサインオンによるログイン確認は完了です。

5. Google Workspace でシングルサインオンを実施する

Mailセキュリティ・クラウド プレミアムでGoogle Workspaceのユーザーでのシングルサインオンを実施する場合の手順を紹介いたします。



	該当の章・項目
認証用アプリケーション ID の確認	5.1 事前準備
Google Workspace SAML 認証用アプリケーションの作成	5.2 Google Workspace の設定
シングルサインオン設定	5.3.1 Mail セキュリティ・クラウドのシングルサインオン設定
SAML 認証用アカウント作成	5.3.1 Mail セキュリティ・クラウド SAML 認証用アカウント作成
シングルサインオンによるログイン	5.4 シングルサインオンによるログイン確認

5.1 事前準備

Mailセキュリティ・クラウドでのSAML認証用アプリケーションIDの確認手順をご紹介します。

1. 管理画面へログインし、画面右上の「設定」をクリックします。



2. 「アカウント管理」 - 「セキュリティ」をクリックします。



3. 「シングルサインオン」 - 「アプリケーション ID」「応答 URL」をメモしてください。後の手順で使用します。

項目	メモ
アプリケーションID	
応答URL	

項目	メモ
アプリケーションID	
応答URL	

以上で、SAML認証用アプリケーションIDの確認は完了です。

5.2 Google Workspace の設定

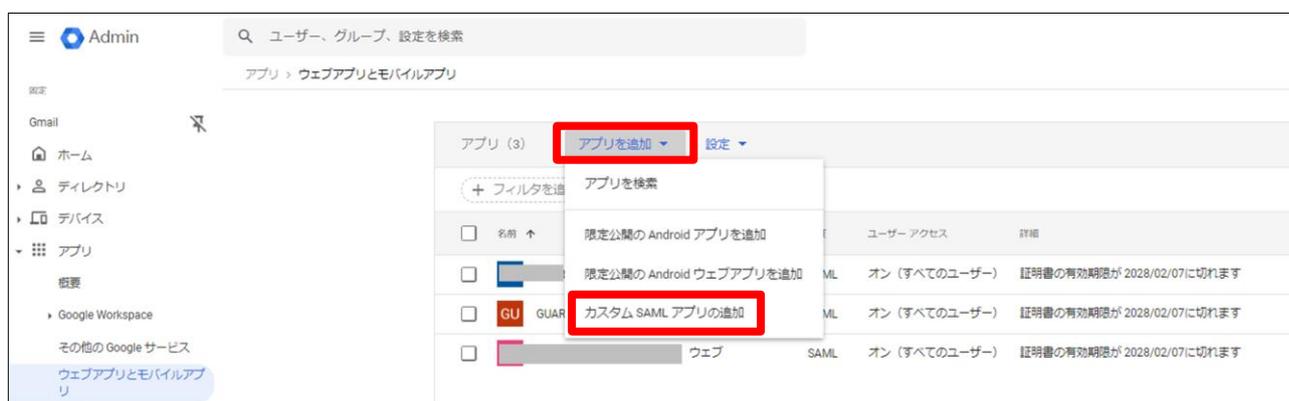
Google Workspaceをご利用の場合、以下の手順に沿ってカスタムSAMLアプリを作成してください。

1. 「<https://admin.google.com/>」に管理者権限でログインし、「アプリ」の「ウェブアプリとモバイルアプリ」をクリックします。



2. 新環境用のカスタム SAML アプリを作成します。

「アプリを追加」メニューバーから「カスタム SAML アプリの追加」をクリックします。



3. 「アプリの詳細」の「アプリ名」を入力し、「続行」をクリックします。

項目	値
アプリ名	GUARDIANWALL Mail Security Cloud
説明	任意

アプリの詳細

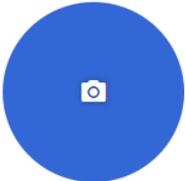
カスタム SAML アプリの詳細を入力してください。この情報はアプリのユーザーと共有されます。 [詳細](#)

アプリ名
GUARDIANWALL Mail Security Cloud

説明

アプリのアイコン

アプリのアイコンを添付してください。アップロード ファイルのサイズの上限: 4 MB



キャンセル **続行**

4. 「オプション 1 : IdP メタデータをダウンロードする」の「メタデータをダウンロード」ボタンをクリックしファイルを保存します。ファイルの保存後、「続行」をクリックします。

SAML アプリに対するシングルサインオン (SSO) を設定するには、サービスプロバイダの指示に従ってください。 [詳細](#)

オプション 1: IdP メタデータをダウンロードする

メタデータをダウンロード

または

オプション 2: SSO の URL、エンティティ ID、証明書をコピーする

SSO の URL

エンティティ ID

証明書

Google_2028-2-6-165152_SAML2_0
有効期限: 2028/02/07

-----BEGIN CERTIFICATE-----
MIIDdDCCAlYgAwIBAgI⁺GAYYuge8QMA0GCSqGSIb3DQEBCwUAMHsx⁺FDASBgNVBAo⁺TC0d⁺vb2dsZ⁺SB⁺J⁺
b⁺mMuMRYw⁺FAYDVQQHEw⁺1Nb3VudGFpb⁺iB⁺W⁺aWV3MQ8w⁺DQYDVQQDEw⁺ZHb29nbGUx⁺GDAW⁺BgNV⁺BA⁺sTD0⁺dv⁺
b2dsZ⁺SBG⁺b3I⁺gV29yazELMAkGA1UEB⁺hMCVVMx⁺EzARBgNVBAg⁺TCKNh⁺gGmb3JuaWEw⁺HhcNMj⁺MwMjA4

SHA-256 フィンガープリント

33:D9:06:39:A8:9D:B4:A4:67:3F:91:6A:D2:9F:52:A3:67:00:D2:F6:35:E7:DF:C6:14:05:1E:13:24:C8:21:
B7

戻る キャンセル **続行**

5. サービスプロバイダの詳細 で、テナント管理画面の情報を入力します。

項目	値
ACS の URL	[5.1 事前準備]の手順 3 でコピーした応答 URL
エンティティ ID	[5.1 事前準備]の手順 3 でコピーしたアプリケーション ID

サービスプロバイダの詳細

シングルサインオンを設定するには、サービスプロバイダの詳細情報（ACS の URL やエンティティ ID など）の入力が必要です。 [詳細](#)

ACS の URL

エンティティ ID

開始 URL（省略可）

署名付き応答

名前 ID
 ID プロバイダでサポートされる名前の形式を定義します。 [詳細](#)

名前 ID の形式

名前 ID

戻る キャンセル

6. 入力内容を確認し、「続行」をクリックします。

サービスプロバイダの詳細
シングルサインオンを設定するには、サービスプロバイダの詳細情報（ACS の URL やエンティティ ID など）の入力が必要です。 [詳細](#)

ACS の URL

エンティティ ID

開始 URL (省略可)

署名付き応答

名前 ID
ID プロバイダでサポートされる名前の形式を定義します。 [詳細](#)

名前 ID の形式
UNSPECIFIED

名前 ID
Basic Information > Primary email

戻る キャンセル **続行**

7. 次の画面では何もせず「完了」をクリックします。

属性
Google Directory のユーザー フィールドを追加および選択し、サービスプロバイダの属性にマッピングしてください。*の付いた属性は必須です。 [詳細](#)

Google Directory の属性	アプリの属性
<input type="text" value="マッピングを追加"/>	

グループ メンバー (省略可)
ここで追加したいいずれかのグループにユーザーが属している場合は、グループ メンバー情報を SAML レスポンスで送信できます。

Google グループ	アプリ属性
<input type="text" value="グループを検索"/>	Groups

戻る キャンセル **完了**

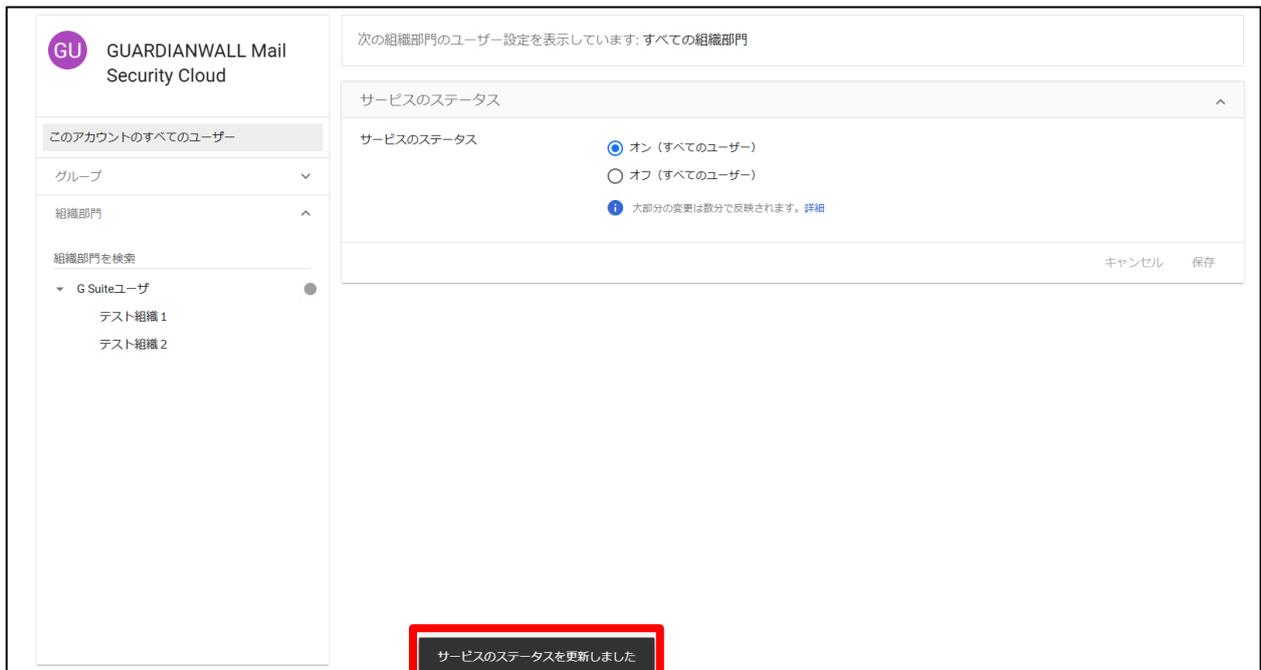
8. アプリが作成されたら、「ユーザーアクセス」をクリックします。



9. 「サービスのステータス」にて「オン(すべてのユーザー)」を選択し、「保存」をクリックします。



10. 「サービスのステータスを更新しました」が表示されます。



以上でカスタムSAMLアプリの作成は完了です。

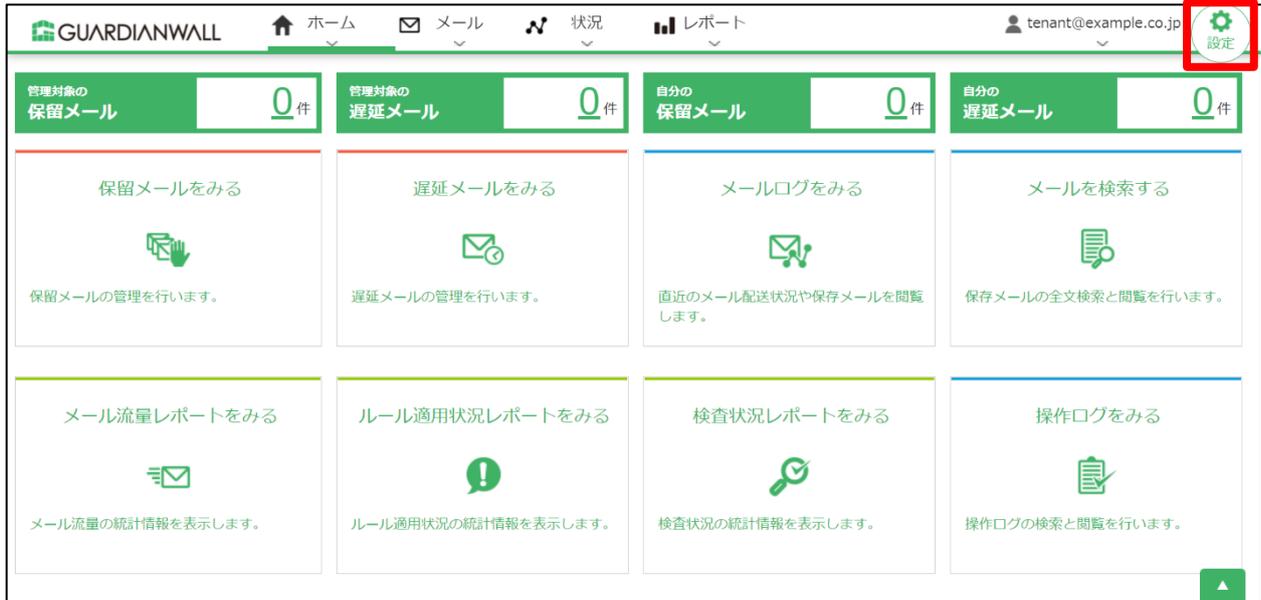
5.3 Mail セキュリティ・クラウドの設定

Mailセキュリティ・クラウドのシングルサインオンの設定と、Mailセキュリティ・クラウド SAML認証用アカウントの作成を行います。

5.3.1 Mail セキュリティ・クラウドのシングルサインオン設定

Mailセキュリティ・クラウドのシングルサインオンの設定手順をご紹介します。

1. 管理画面へログインし、画面右上の「設定」をクリックします。



2. 「アカウント管理」の「セキュリティ」をクリックします。



3. 「シングルサインオン」 - 「SAML 認証」を「オン」に変更し、「IdP メタデータ」に[5.2 Google Workspace の設定]の手順 4 でダウンロードした「IdP メタデータ」をアップロードします。

The screenshot shows the 'セキュリティ設定' (Security Settings) page for 'シングルサインオン' (Single Sign-On). The 'SAML 認証' (SAML Authentication) is turned on. Under 'IdP メタデータ (※)', the 'ファイルアップロード' (File Upload) option is selected, and a file named 'GoogleIDPMetadata.xml' is uploaded. The 'アプリケーションID' (Application ID) is 'https:// /saml' and the '応答URL' (Response URL) is 'https:// /saml/sign_in'. There is also a section for 'アカウントロック失敗回数閾値' (Account Lockout Failure Count Threshold) set to 0.

4. 下にスクロールし、「更新」をクリックします。

The screenshot shows the 'パスワード再設定' (Password Reset) settings page. The 'パスワード再設定機能' (Password Reset Function) is set to 'オフ' (Off). The 'パスワード再設定の有効期限' (Password Reset Validity Period) is set to 120 minutes. The 'アカウントロック時のロック解除' (Account Lockout Release) is set to 'しない' (No). The '通知メール本文' (Notification Email Body) contains a default message about password reset. The '更新' (Update) button is highlighted with a red box.

5. セキュリティ設定を更新しました。」と表示されていることを確認します。

GUARDIANWALL

✓ルール管理 ✎ルール編集 👤アカウント管理 ⚙️システム設定 🔗人事情報連携

操作

アカウント セキュリティ設定

権限テンプレート セキュリティ設定を更新しました。

セキュリティ シングルサインオン

SAML認証	<input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> オン
IdP メタデータ (※)	<input checked="" type="radio"/> ファイルアップロード ファイルを選択 選択されていません
	<input type="radio"/> 日次取得 URL: <input type="text"/>
アプリケーションID	https:// /saml
応答URL	https:// /saml/sign_in

(※) SAML認証をオンにした場合や設定項目を変更した場合にIdP メタデータ情報の更新を行います。

アカウントロック失敗回数閾値

ログイン失敗回数閾値 * 回

※0の場合は無制限

パスワード

有効期限 *	<input type="text" value="0"/> 日
文字数 *	最小文字数: <input type="text" value="8"/> ~ 最大文字数: <input type="text" value="30"/>

以上で、シングルサインオン設定は完了です。

5.3.2 Mail セキュリティ・クラウドの SAML 認証用アカウント作成

Google Workspaceに登録済みのSAML認証アカウントと同じアカウント名を持つアカウントをMailセキュリティ・クラウド側で作成する手順をご紹介します。

1. 管理画面へログインし、画面右上の「設定」をクリックします。



2. 「アカウント管理」 - 「アカウント」をクリックします。



3. 「新規登録」をクリックします。



4. 以下の値に設定します。

項目	設定値
アカウント名	Google Workspace に登録済みの SAML 認証アカウントと同一
別名	任意
認証タイプ	SAML 認証

アカウント

アカウント情報

アカウント名 *	user01	@	example.co.jp
別名			
認証タイプ	SAML認証		
権限テンプレート (読み込み)	無し		

* 必須項目
権限リスト

5. 各種権限の設定はお客様の環境に合わせて設定してください。

6. 「登録」をクリックします。

ルール編集		無し
アカウント管理		無し
システム設定	基本設定 情報検査機能設定 メール保存機能設定	無し
<input checked="" type="checkbox"/> 登録		

7. アカウントが作成されたことを確認します。

The screenshot shows the 'アカウント管理' (Account Management) section of the GUARDIANWALL interface. The page title is 'アカウント' (Accounts) and the subtitle is '登録済みアカウント一覧' (Registered Accounts List). The interface includes a search bar for 'アカウント名/別名' (Account Name/Alias) and buttons for '検索' (Search) and '全件表示' (Show All). Below the search bar are buttons for '+新規登録' (New Registration), 'アップロード' (Upload), '全件ダウンロード' (Download All), '削除' (Delete), and 'アカウントロック' (Account Lock). A table lists the accounts, with the third row highlighted in red. The table has columns for 'No', 'アカウント名' (Account Name), '別名' (Alias), and two '操作' (Operations) columns. The third row shows 'user01@example.co.jp' with an alias of 'システム管理者' (System Administrator) and a 'パスワードリセット' (Reset Password) operation checked.

No	アカウント名	別名	操作	操作
1	admin@example.co.jp	システム管理者	編集	-
2	tenant@example.co.jp		編集	✓ パスワードリセット
3	user01@example.co.jp		編集	✓ パスワードリセット

以上で、SAML認証用アカウントの作成は完了です。

5.4 シングルサインオンによるログイン確認

シングルサインオンでMailセキュリティ・クラウドにログインする手順をご紹介します。

1. 管理画面にアクセスし、「認証サービスでログイン」をクリックします。



2. Google Workspace のアカウントを入力します。



3. Google Workspace のパスワードを入力します。



4. Mail セキュリティ・クラウドにログインできることを確認します。



以上で、シングルサインオンによるログイン確認は完了です。

Appendix

1. ご利用いただけない機能

[3.マニュアルの確認手順]でご紹介しましたGUARDIANWALLのマニュアルに記載されている機能の中に、Mailセキュリティ・クラウドではご利用いただけない機能がございます。

ご利用いただけない機能は以下のとおりになります。また、機能に該当するマニュアルを次頁に記載しております。

ご利用いただけない機能
①LDAP 認証を使用した管理画面へのログイン
②人事情報連携でグループ情報を LDAP 経由で取得する機能
③マニュアルに記載の GUARDIANWALL のアンチスパム・アンチウイルス機能 ※本サービスではスパム、ウイルス対策をおこなっております。
④POP3 を利用してのジャーナルメール取得
⑤ルールファイルの直接参照
⑥宛先 (To、Cc、Bcc) に社外ドメインを含まない社内間メールをフィルタリングして遅延、保留
⑦宛先 (To、Cc、Bcc) に社外ドメインを含まない社内間メールの添付ファイルを ZIP 暗号化
⑧宛先 (To、Cc) に社外ドメインを含まない社内間メールの宛先 (To、Cc) を Bcc 変換
⑨システム管理者アカウントの利用 ※本サービス提供側で利用するアカウントです。
⑩「システム管理者向けマニュアル」の閲覧

該当するマニュアルの目次	
①LDAP 認証を使用した管理画面へのログイン	
操作画面	ログイン/ログアウト
操作画面	設定系 » アカウント管理 » アカウント » 新規登録 (情報管理者用アカウント - フォーム認証、LDAP 認証、SAML 認証)
操作画面	設定系 » アカウント管理 » アカウント » 編集 (情報管理者用アカウント - フォーム認証、LDAP 認証、SAML 認証)
操作画面	設定系 » アカウント管理 » アカウント » アップロード
操作画面	設定系 » 人事情報連携 » インプットデータ
操作画面	パスワード変更
スマートフォンからのアクセス	パスワード変更
スマートフォンからのアクセス	ログイン/ログアウト
②人事情報連携でグループ情報を LDAP 経由で取得する機能	
各種仕様	人事情報連携機能 » 人事情報連携機能での設定更新に必要な入力ファイル
操作画面	設定系 » 人事情報連携 » 基本設定 » 「LDAP 情報設定」「LDAP 情報設定 - ユーザー検索」「LDAP 情報設定 - DN 検索」「LDAP 情報設定 - セキュリティグループ検索」
③マニュアルに記載の GUARDIANWALL のアンチスパム・アンチウイルス機能	
GUARDIANWALL MailSuite 情報管理者向けマニュアル	
各種仕様	
各種仕様	標的型攻撃メール検知機能
各種仕様	標的型攻撃メール検知機能 » 「スパムメール」「ウイルスメール」
各種仕様	標的型攻撃メール検知機能 » 概要 » 「概要」「注意事項」「動作適用について」
各種仕様	通知メール » MGW ワーカー » 「スパムメール検知」「ウイルスメール通知」「アンチウイルス定義ファイル更新エラー通知」
各種仕様	ルール » 「SPAMMAIL 関数」「VIRUSMAIL 関数」
各種仕様	アイコン
操作画面	操作系 » レポート » 悪意あるメール受信状況
操作画面	操作系 » 状況 » メールログ閲覧
操作画面	設定系 » システム設定 » 情報検査機能設定
④POP3 を利用してのジャーナルメール取得	
各種仕様	ジャーナルアーカイブ機能 » POP3 を利用してジャーナルメールを取得する
⑤ルールファイルの直接参照	
各種仕様	ルール » ファイルパス
⑥宛先 (To,Cc,Bcc) に社外ドメインを含まない社内間メールをフィルタリングして遅延、保留	
運用サポート	シナリオケース » 「特定の人が送信したメールを遅延する」「特定のグループが送信したメールを遅延する」「遅延通知メールに遅延メール管理画面の URL を記載する」「特定のファイルが添付されているメールを保留する」「特定のワードを含むメールを保留する」「個人情報が含まれるメールを保留する」

該当するマニュアルの目次

⑦宛先(To,Cc,Bcc)に社外ドメインを含まない社内間メールの添付ファイルを ZIP 暗号化

運用サポート » シナリオケース » 「添付ファイルに暗号化を施す」「受信（予定）者宛の添付ファイル暗号化パスワード通知メールを遅延させる」

⑧宛先(To,Cc)に社外ドメインを含まない社内間メールの宛先(To,Cc)を Bcc 変換

運用サポート » シナリオケース » 宛先を Bcc 変換する

⑨システム管理者アカウントの利用

操作画面 » 設定系 » システム設定 » 「画面設定」「情報検査機能設定」

操作画面 » 設定系 » アカウント管理 » 「アカウント」「権限テンプレート」

操作画面 » 操作系 » 状況 » ダウンロードデータ管理

運用サポート » シナリオケース » シングルサインオンできるように設定する

⑩「システム管理者向けマニュアル」の閲覧

各種仕様 » 標的型攻撃メール検知機能 » 「概要」「スパムメール」「ウイルスメール」

運用サポート » シナリオケース » シングルサインオンできるように設定する

各種仕様 » ジャーナルアーカイブ機能 » SMTP を利用してジャーナルメールを取得する » 「Exchange Online 設定」「Microsoft Exchange Server 2007 設定」「Microsoft Exchange Server 2010 設定」「Microsoft Exchange Server 2013 設定」「Microsoft Exchange Server 2016 設定」



GUARDIANWALL

Mail セキュリティ・クラウド プレミアム

ユーザー運用ガイド

2025 年 3 月 ver.3.5

